

No.

インドネシア
家族計画プロジェクト
巡回指導チーム報告書

昭和55年 8 月

国際協力事業団医療協力部

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
(JICA)

医 二

81 - 03

No.

インドネシア 家族計画プロジェクト 巡回指導チーム報告書

JICA LIBRARY



1029119[3]

昭和55年 8 月

国際協力事業団医療協力部

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
(JICA)

医 二
██████████
81 - 03

国際協力事業団	
受入 月日 '84. 3. 19	108
登録No. 00880	98.2
	MCS

は し が き

インドネシア家族計画プロジェクトは、昭和52年7月に専門家チームを派遣し、討議議事録（R/D）の署名交換を行って協力を開始して以来、2年半が経過した。

本プロジェクトは、インドネシア国における家族計画を推進するために、インドネシア国民に対する家族計画にかかる教育、情報、伝達分野で協力するものであり、その教育、情報、伝達のためのメディアのソフトウェアのプロトタイプを作成を目的とするものである。

プロジェクト開始以来、種々の困難もあったが、メディア・プロダクション・センターを設立し、カウンターパートも徐々に育って来た。

2年半が経過した今日、この協力の成果をふり返り、さらに有効な協力を進めて行くために、今回、巡回指導チームを派遣することとなった。

これまで、本プロジェクトを支援していただいた専門家の方々及び関係各機関の方々に心からお礼を申しあげるとともに、今後も一層のご協力をお願いする次第である。

昭和55年8月1日

国際協力事業団

理事 長谷川 正 男



R/Dに署名する左から末武教授及びDr. ハルヨノ

目 次

I 巡回指導チーム派遣の経緯	1
II 巡回指導チームの構成	2
III 巡回指導チームの日程	3
IV 巡回指導チーム派遣の目的及び業務内容	6
V 討議々事録と追加討議々事録	19
VI 討議々事録控え	31
VII 付属資料（前回R/D署名交換チームの報告書）	37

I 巡回指導チーム派遣の経緯

昭和51年8月に派遣された家族計画協力計画打合わせ調査団により、インドネシア国における家族計画の分野に対するわが国の協力の方向として、家族計画普及員、一般民衆の教育、啓蒙をより多角的、効率的に実施するための媒体（視聴覚ソフトウェア）開発が示唆された。

この報告に基づき、具体的な協力内容を調査するため、昭和52年3月視聴覚教育専門家チームを派遣した。同専門家チームは、インドネシア国の実情を調査し、同国関係者と討議した結果、家族計画普及媒体製作センター（Family Planning Media Production Center）の構想をとりまとめた。（付属資料参照）。

この構想にもとづき、わが国側の具体的協力案を策定し、討議議事録（R/D=Record of Discussions）の形にとりまとめ、それをインドネシア国側に提示し、討議のうえ署名交換を目的として、昭和52年7月に、R/D署名交換のため専門家チームを派遣し、R/Dの署名交換を行った。（付属資料参照）。

このR/Dによる協力期間が昭和55年3月31日までであるので、さらに協力期間を3年間延長するとともに、過去2年半にわたる協力の効果がどのようにあらわれているかを調べ、あわせてカウンターパートの指導も行うことを目的として、この巡回指導チームは派遣されたものである。

Ⅱ 巡回指導チームの構成

団 長 末 武 国 弘 東京工業大学教授 (総括)

団 員 半 田 雄 三 (視聴覚教育)

" 近 泰 男 日本家族計画協会常務理事 (家族計画)

" 野 福 文 徳 国際協力事業団医療第二課 (業務調整)

Ⅲ 巡回指導チームの日程

(昭和55年3月12日～3月23日)

月 日	時 間	行 動 概 要
3月12日(水)	10:00 17:50 20:30	JL711便で成田発。 ジャカルタ着。 日本大使館手島書記官、小島JICAジャカルタ事務所員の出迎えを受ける。 Hotel Sari Pacific にチェックイン。 同ホテルにおいて、小島所員、山田専門家と日程について打合わせ。
13日(木)	9:00 12:30 14:30	BKKBN。 Dr. Sarnanto (副議長)、Dr. Haryono (家族計画局長) Dr. Sugeng (管理局長)、Drs. Bambang (広報部長)とで日程について打合わせ。手島書記官、小島所員同席。 大使館主催 昼食会(レストラン・コーベ)。 MPC(カウンターパートの指導)。
14日(金)	9:00 14:00 16:30	MPC(カウンターパートの作成したビデオテープを見る)。 Mr. Tantrawan 他同席。 BKKBN。 Dr. Haryono と R/D について討議。
15日(土)	9:00 12:00 13:00	RRI 6階 Mr. Tantrawan の Office において、RRI 技術部長 Mr. Suramat (RRI ビル管理責任者) と MPC のスタジオ及び Office について情報交換。 情報省。 情報長官 Mr. Sumadi 代理 Mr. Atomoko (Mr. Sumadi は病欠のため) (Director General of Radio, TV and Films) の秘書 Mr. Sany (Director of Radio Dept.) と意見交換。 Hotel Sari Pacific において、昼食を共にしながら、Dr. Haryono, Drs. Bambang, Mr. Tantrawan らと技術協力の

月 日	時 間	行 動 概 要
	14:00 } 16:00	内容について討議。 引き続き同メンバーで、Hotel Sari Pacific の会議室において討議続行。
3月16日(日)		休 日
17日(月)	9:00 10:30 11:00 } 12:30 15:00 } 17:00	MPC 近団員の講演「日本の家族計画」。 末武団長の講演「教育工学とは」。 プレジデントホテルにおいて、Dr. Haryono, Drs. Banbang とR/Dの最終案について討議・打合わせ。
18日(火)	9:00 10:00 } 12:30 19:00	BKKBN JAKARTA 訪問見学。 三ヶ所の街頭テレビ見学。 Hotel Sahid Jaya においてR/D署名。Dr. Sarnanto, Dr. Haryono 他。 引き続き、インドネシア国側主催夕食会(同ホテル、シーフードレストラン)。
19日(水)	9:00 17:00	Hotel Sari Pacific をチェックアウトして、マイクロバスでバンドンへ向う。BKKBN の Mr. Herman 同行。途中、家族計画のフィールドを見学し、模範家庭において、質疑応答。 バンドン着。 Panghegal Hotel にチェック・イン。
20日(木)	9:00	BKKBN WEST JAVA 訪問。活動状況について質疑応答。 Mr. Kusnadi (Chief of Family Planning Division),

月 日	時 間	行 動 概 要
	11:00 14:00 18:00 22:30	Mr. Unung (Secretary to the Chairman)。 Mr. Herman 同席。 BKKBN PROVINCIAL TRAINING CENTER 見学。 NATIONAL CENTER FOR THE DEVELOPMENT OF LEARNING ACTIVITIES (文部省) 見学。 バンドン発。 ジャカルタ着、Hotel Sari Pacific にチェックイン。
3月21日(金)	9:00	PROVINCIAL CLINIC (JAKARTA) 見学。
22日(土)	12:00 19:20	ASOKA HOTEL KOREAN HOUSE において、技術協力 の進め方について協議。 Dr. Sarnanto, Mr. Tantrawan, Mr. Swandi 他出席。 JL712にてジャカルタ発。
23日(日)	6:05	成 田 着。

Ⅳ 巡回指導チーム派遣の目的及び業務内容

〔1〕 目的

本件チームは、下記を目的として派遣された。

- (1) 過去2年半のプロジェクトの実施結果の評価を行うこと。
- (2) その評価にもとづき、改善改革をすべきものがあればインドネシア国側と協議を行うこと。
- (3) 上記(2)の協議にもとづいて、R/Dの署名交換を行うこと。

〔2〕 プロジェクトの評価

〔1〕の目的に従い、プロジェクトを評価した結果は次のとおりである。

(1) 総合評価

半田、山田両専門家の御努力によって現地側の意識のかなりの向上と技術も向上したことが認められ、多少時期的におくれているが、初期の予想にかなり近い効果があったことが認められた。

(2) 詳細評価

- (a) 経緯：当初作成したこのプロジェクトの遂行案は次の方略からなっていた。
 - (i) 家族計画は日本の成功例からもわかるように結局のところ教育の向上が本質である。
 - (ii) しかし教育の向上を押し進めるには発見学習法的に行うと時間がかかりすぎ、誘導学習法的に行えばインドの例に見るように無理がある。結論としては誘導発見学習法的方法を採る。

その基本的考え方にもとづいて次のような「教育工学センター」を設置する。
教育工学センターの構成

オペレーションズ・リサーチ ・センター	政府要人の意識向上のための方略・技法を練る。
フィールドワーカーのトレー ナーのトレーニングセンター	教育工学的手法を駆使したトレーニングを行う。
メディア・プロダクション・ センター	上記の2センターに必要なメディアのプロトタイプを制作する。

この案はそれまでの日本のインドネシア国側（以下「イ側」と略称する。）に対する協力の経緯から見てその当時の案としてはかなり大胆に見えたようである。

これに対しいろいろ検討が行われ、結果的には名より実をとってとりあえずメディアプロダクションセンター（MPC）を発足させることになった。それは後述するようにこのMPCの機能の中に上記の他の二つのセンターを含ませることが実質的に可能であるからと判断されたからである。

MPCが入るべき建物やスタッフの人員の確保、管理運営方式の確立については半田専門家の筆舌には尽しがたい御努力があったし、また、スタッフに対する技術伝達に於ては中村、山田両専門家の多くのノウハウの創案と血のにじむような御努力があったわけで、これらの専門家の御尽力に対し改めて深甚なる敬意をささげたい。

- (b) 方略：MPCではA・Vのプロトタイプを作ることが主目的になっているが、これには、上記の立案やそれにもとづく方略から次に述べる三つの概念が含まれている。

プロトタイプ

1. A・V用材料（ビデオ教材、ポスターなど）のプロトタイプを制作し、試行する。
2. プロジェクト遂行のための、これに適したアイデアを案出して新しい方式システムを創り出し試行する。
3. 日本のよい技術を現地に適応するように修正し、かつこれを効率よく伝達し定着させるための方法を創案し、試行する。（Good Useware of Techwology Transfer）

この三つの概念に分けて次に成果を評価してみよう。

- (i)としてはテレビ教材やポスターなどがいくつか出来ており、着々成果を挙げている。中でもポスターはそのプロトタイプの中でよいものが認められて、正式にプロの印刷所から立派なポスターとなって出版されていた。
- (ii)としては「街頭テレビ」がその例で、試行の結果は好評で迎えられ、結果的に1側の費用で50セット導入が決まった由で、プロトタイプとしては成功であったと考えられる。

また、イ側政府の高官がこれに大きな興味を示したことは、方略中のORセンター構想の成果の一つと考えられ、今後も、単に作品を作るだけでなく、常にこの方略構想を考えて行くことが必要であると思われる。

- (iii)としては(i)フィールドワーカーのトレーニング方法の創案や(ii)MPCのスタッフに対するテレビ技術の養成訓練の方法の立案試行がある。

(i)は半田専門家によって着手されたが未だ効果は上っていない。

(ii)は中村専門家、山田専門家によってかなりのところまで技術が高まっているが

技術の向上にもなって、さらに高級な機器が導入されるので今一つその研究開発が望まれる。

(3) 家族計画フィールドの視察

(a) プンチャック峠近くの村落のFP活動状況

(BKKBN Mr. Herman が同行)

相互援助システム(ゴトンヨロン)によって井戸や屋外共同シャワー場の整備はかなり進歩しているように見うけられた。しかし16才前後のまるで中学生ぐらいの「幼な妻」がある家の一室に集まってフィールドワーカーからピルを配給してもらっているところを見せられこの問題の根の深さを改めて認識させられた。聞けば結婚適齢期が男子19才、女子16才とのこと(日本は男子29、女子25才である)これに対し現地側からなぜ日本でFPがうまくいっているのかと尋ねられ、結局これは教育の問題であると答えた。

日本では

1. 教育の普及が大きい
小中校就学率 99.9%
高等学校 90%以上
大学 40%以上
2. 多くのものが大学へ入りたがっている
3. 教育書にかなり資金が必要
4. 文盲率が低い(雑誌等からのFPの知識の獲得率が大きい)

これから見て本計画の基本に教育重視(IEC活動)をおいたことの正当さが裏づけされたように思われる。

(b) BKKBN バンドン支局

インドネシア国のFPは次の5つの支局からなっている。



西ジャワ支局の事務局がバンドンにあり、ここを訪問した。

人口2500万で、20郡部と4市からなっており、宗教は90%がイスラムで、宗教活動からもFPを行っている。

このようにモスレムのリーダーの役か政治当局、オピニオンリーダーも活躍しているとのこと。

メディアとしてはラジオ、TV、フィルム、ポスターのほか集合活動を利用して、このうちラジオが効果がよくRRIが3チャンネル、地方ラジオ局が24

もあるとのこと。

印刷物としてかなり立派なものが制作されていて、1枚78ルピア（一度に約17000部印刷）で配布しているとのこと、印刷に関してはあまり援助の必要がないようである。

ここでもフィルムの不足を訴えられたが、16ミリ映写機は手入れが十分でないとのこと、ハードウェアの保管システムの必要を痛感した。

(c) バンドンの文部省教材センター

ここではわずか十数人のスタッフが教材作りに専念していたが大そうシステムがよく出来ているのでMPCの大きな参考になるものと思われる。

1) 制作物の展示室が完備している。

2) バンフレットの印刷物制作システムがよくととのっている。

a) イラストレータ 小学校出であるが大へん上手
特別手当支給

b) 印刷機 オフセット印刷の機材が完備している

c) バンフレットは100種のプロトタイプが出来上り、その内の20部(FPも入っている)を全国に配給するように積極的に鋭意印刷中であった。

3) 各種の教材教具

(携帯用紙芝居装置などのプロトタイプを開発していた)

結論 MPCとこのセンターとの協同提携が望まれる。

それがむづかしければ意見交換の会合をもつべきであろう。互いに刺激になると思われるからである。

(d) バンドン工科大学

CCTV 装置を見学(前回の報告に詳細に述べてある)

優秀なスタッフがいるのでTV関係の技術援助を依頼することが考えられる。

幸いBKKBNは文部省と保健省との間の調整をとることができるので、その働きをイ側に勧告することが望まれる。

(e) 民族舞踊の見学とビデオどり

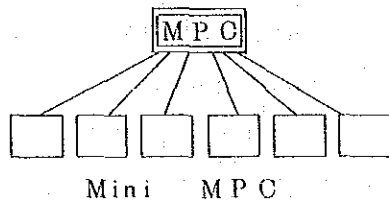
「アングロン・ウジョ」の舞踊の見学を行い、MPCの街頭テレビの放映番組の中に採用すべく、テレビ撮りを行った。

(4) MPCの機構改革について

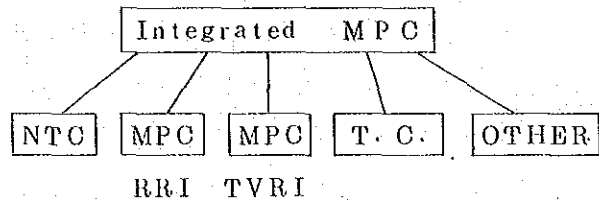
訪イ前に日本で得ていたMPCの改革案はBKKBNがワールドバンクからかなりの費用が借款でき、またフォード財団からも援助を得てイ国全体に多くのMini MPCを作りIEC(Intormation, Education, and Communication)の活動を盛んにする——というものであった。

ところが現地を訪問してみると、これと大分ことになっていて、TVRI も含めたもっと大がかりな案になっていた。

(詳細はRD 参照)



予想案 (日本側)



Haryono 案

この案は、1980年4月1日から Dr. Haryono がその責任者となり大型予算を投じて大々的に行うとのことでその予算案や実行計画案の下案を口頭発表された。

また、日本側からの要求として、このプロジェクトの成功は第一に良い人材を得ることであるから、大学・情報省等の協力を強く望んだのに対し、それらを含めた諮問委員会 (Advisory Committee) を作り強力に推進したいと構想を明らかにされ、また人名も含めたその構成表 (RD 参照) の開陳があった。

〔注〕 上記の、今回 Dr. Horyono が示した案は、予想していたものと大分異なっており判りにくい点があったので、末武が三年前に作った案を見せて、このようにシステム図を用いて説明してもらいたいと言ったところ、それを参考にしながら白板上に彼の構想を描き上げていった。

あまり末武案に似ているので、「失礼だがあなたは今、これを話しながら創ったのか?」と尋ねたところ「いやこの方があなた方にとって判りやすいだろうからだ」と言われたが、討論後の日本側の検討結果では、『何か彼の思いつきのようにも見える。予算の規模もかなり大きいし、毎月のように評価と修正を行う会議をもって今後進行していくと言うが、本当にこのように進むなら評価してよいが、果してこのように進むのか、正直のところ疑問がある』と感じた。

今後その実行を見守り、万一実行されない場合はイ側に強く申し入れる必要があるだろう。

上記の案は、その詳細は4月1日を過ぎるまで公表できないと言うことであったが、もう時点を過ぎたので、田中専門家を通じその計画案を入手し、今後の協力計画を進める上での参考にすることが望まれる。

(5) MPCの問題点とこれからの仕事

(a) 街頭テレビとその問題点

3月18日(火)にBKKBNのHAMAN氏のアレンジにより次の三ヶ所の街頭テレビの現状を視察した。

まず、BKKBNのジャカルタ支局〔DKI (Daerah Khusus Ibukota)〕でDr. Sih RomlusとMr. Muntheに面会の後出発

- (i) 国立病院の待合室 (放映時間 10時～12時)
- (ii) 市庁舎の庁内広場 (" 12時～14時)
- (iii) バスターミナル (" 12時～14時、16時～17時)

1) 評 価

三ヶ所とも60～100人の人々が大変熱心に見入っていたので、PR効果は十分あるものと思われた。

2) 設 備

(i) (ii)については何れもロッカーに入っているため、BKKBN支局の担当者が時間になると来て、鍵を明け、電源スイッチを入れる運用をしていたがこのシステムは改善する必要がある。

改善点 CCTVに改める(現在配線は床をはわせているので危険である)

3) ソフトウェアの制作

作品は一部ピンボケもあるが、内容としてはかなりよい作品ができていた。(現在30本制作されている)

4) ソフトウェアの配給システム

現在、MPCにマスターテープを残し、BKKBNへコピーをそれぞれ1本ずつ送り、検閲をうけたものを上記三ヶ所に配給している。

しかし、配給されたものは毎日くり返して見せているだけなので、新しいものがほしいとの現場の要求がBKKBN支局へフィードバックされていない。

コピー本数を増さないでも三ヶ所のテープを交換すればよいので配給システムを確立する必要がある。

5) ハードウェアの改善点

(i) バスターミナル

街頭テレビを見る人をもっと多くするため、その音声をバス案内用のスピーカーシステムにつなぐことを当事者が希望したので、MPCでは援助することを約束、たまたまソニーの木村氏が来伊していたので、援助方を依頼した(結果については、まだ報告をうけていない)

(ウ) 病院の待合室の CCTV について

Dr. Haryono の希望もあり、街頭テレビシステムをプロトタイプとして増やすことについて検討し、21日(金)に Klinik Raden Salek を訪問(3年前に訪問したのと同じクリニック)ここで Dr. B. AFFENDI に面会、

(Sub Division of Human Reproduction Dept. of OBGY,
School of Medicine, Univ of Indonesia)

待合室にはVIPの入達の特別室がある。一般の人には待合室が3つ、ほかにベッドで待っている人が2部屋あり、これらに CCTV をつけてはという事になった。

また、ここではインドネシア大学の Docter や看護婦の教育育成を行っているので、手術用の CCTV System が欲しいということであるが、これは看護婦教育プロジェクトとタイアップすることがよいのではないかと話をした。

この Dr. AFFENDI は General Hospital の Secretary もしているため、先日一度訪問しているが、再度そこを訪問して改善案を練ることとし、同氏に同行してもらった。

General Hospital 用街頭テレビモニタの改良点

現在の設備を CCTV System に変更し、モニタは壁にとりつけ、看護婦室に VTR を設けて、すべての操作を看護婦にしてもらい。こうすれば BKKBN としては、ビデオテープの交換配達をするだけで済むので一石二鳥となる。

これについては、病院を視察し、トリプト氏とも打合せて申請書にこれを入れさせた。

BKKBN で街頭テレビ50台導入の計画であるが、これについては安全性を考え、設計の改良を BKKBN およびメーカーへ進言するとよい。

(ク) 街頭テレビの CCTV に改めることとしてのプロトタイプ (案)

Klinik Radem Salch	国立病院			
		婦人科	外科	小児科
CCTV モニタ				
VIP室 1台	モニタ	6台	3台	1台
待合室 1台	VTR	1台		1台
〃(細長) 2台				
待合ベッド 2台				
モニタ数計 6台	計	モニタ	10台	
VTR 1台		VTR	2台	

(b) TVRI と TBC

タイムベースコレクタが MPC に到着したら、MPC の作品を TVRI から放映する作業を早急に進める必要がある。

MPC の Advisory Committee の審議にかけて、この委員の一人である TVRI の SUPOMO 氏を通し TVRI 側と交渉してもらうことが必要である。

(c) MPC の部屋

MPC は新しく建造中のビルへ移る予定であったが、急にイ側の都合で不可能となり、他へ引越することをすすめられたが、調査の結果面積が狭いこと、構造上スタジオ向きでないこと、また外部雑音などの関係で良くないので、結局現在の部屋をそのまましばらく使うことにした。将来これは再び問題になると思われるので相手の出方を監視する必要がある。

(d) デモンストレーションルームの開設

MPC の作品は、これを常時展示して訪問者が容易に見学できるよう、配置や展示の方法を工夫する必要がある。これは MPC の PR のための方略としてもっとも重要な点であるので、これを大いに推進されたい。

(e) 人材の確保

正直に言って現在の MPC のスタッフの質は全体的にみて優秀とは言えない。日本側から『スタッフの給料を上げて、優れた人材を確保してほしいと強く申し入れたが、現在のところは [no way] であるとの返答しか得られなかった。

むずかしい問題ではあるが、結局はプロジェクトの成功は人材にあるので、日本側としては、この点は今後とも引きつづいて申し入れをすべきである。

現在の MPC のスタッフの質について

対策 (在日本研修)

ビデオ	ソフトウェア技術	まずまず OK	シンクトリオ、スマルソノ
	ハードウェア技術	やや良い	ロヒト
その他の制作	ソフトウェア技術	大へん質が悪い	スタッフの入れ換え
	ハードウェア技術	ナシ	在日本研修の検討
原画作成		かなりよい	

人材としては、MPC よりも各地方の BKKBN の支局に優秀な人が多い。(今までに数回の訪問でスバラヤ、ジョクジャカルタ、バリ、バントンを視察したが、これらの地方のスタッフはかなり優秀であった。)したがって、プロトタイプとしていくつかの支局を日本側で指定し、各支局間で互いに競争させることが一つの方略として考えられる。

(f) 供与機材について

1) 特筆大書すべきことは今回からイ側の了解のもとにコンドームの供与が無くなったことである。

当初から（前からの引き続き）と言うことで、割り切れないながらもこれが供与物質の中に入っていたが、今回からこれが外されて、スッキリしたことは喜ばしい。

2) イ側からの申請書の中にあいかわらず高価カメラや8mmがまたもや入っている。

ピンボケ、不適當なカメラアングルやライティングで撮影しているようなスタッフには、まずビデオカメラとVTRで教育訓練を行うことを提唱したい。

これによれば、上記の点は、VTRを再生してみせることにあり、直ちにフィードバックできるので、効果が直ちに上るからである。

今のまま写真班、8ミリ班に機材をあてがってもあまり効果は上がらないように見うけられた。

(g) 新しい機材の導入について

日本からの機材の供与は、現地側で作った機材要請書（A4フォーム）によって行われるが、日本では、次々と新しい装置機材が開発されているので、現地から要請書だけによると、時期おくれになって間に合わなくなる恐れがある。

日本側からの「推奨品」を入れる余地を設けてもらうとよい。例えば、目下考えられる機材としては次のものがある。

1) 電子楽器（カシオ）

ビデオのプログラムや録音教材を作るときの音響効果として最適である。

2) 新しい印刷器（理想科学・リソグラフ7200システム）

一種の輪転印刷器であるが、ほとんど人手が不要で大それた鮮明な印刷が数10枚から数万枚まで格安にしかも手軽にできる。

3) ビデオ→8mmフィルム変換装置

イ側は16mm映写機が沢山あるので、上映用の16mmフィルムの支給方を希望している。

しかし、16mm映写機が常時完全に動く状態にあるかどうかを調査する必要がある。（おそらく多くのものが働かないのではないかとと思われる。）〔バンドンのBKKBN支局での視察結果〕

むしろ8mm映写機を導入した方がフィルム代が格安であるので、効果が大きいのではないかとと思われる。

そのために、次のものの導入をプロトタイプとして考えることを提案したい。

ビデオ（PAL） → 8mmフィルム変換器

4) ビクチャーニュース(トリプト氏案)

これは、日本の各新聞社が制作して駅頭や各学校で提示してある「壁写真ニュース」に相当するもので、オフセット印刷、または上記の印刷機で印刷して各街の要所要所に提示することがトリプト氏によって発案された。

簡単でかつ効果が大きいように思われるので、これについての印刷技術の導入が考えられる。

5) クロマキー装置

トリプト氏から MPC 用に「クロマキー装置」の導入が希望され 55 年度の「A4 フォーム原案」に記入されていたが、MPC の現在のスタッフでは高級すぎるので、ほぼ同じ効果を現在の装置で Key を使って出させれることを返答し、了解を求めた。

(6) その他の重要事項

(a) イ側の管理運営システムとポリシーについて

(i) 16mm 映写機について

イ側の説明によると同国には 500 台の Mobile Van があり、16mm の映写機が積んであるとのことで、16mm のフィルムが少いので、MPC の作品(PAL システム)を米国に送って 16mm フィルムに変換 [TV (PAL) → TV (NTSC) → 16mm フィルム] を行うことを語っていた。

しかし、これについて調べたところ(ジャカルタとバンドンの BKKBN) 十分な調査でないが、BKKBN には 16mm 映写機の保守管理者が居らず、機器類は使えばなしが多いことがわかった。

これは、日本側から例えば財団制作の 16mm フィルムを供与しても、フィルムが切れやすく、100 回使えるところが、数 10 回しか使えないことが起り、効果が上がらないので、機材の保守管理を十分にしようそのシステム作り(期間を定めてこの機材の点検、修理、1 年おきのオーバーホールなど)をイ側に強く申し入れることが必要であろう。

(ii) TV 用 Mobile Van

BKKBN のジャカルタ支局に過去に送られた TV の Mobile Van があつた。(末武の記憶にないのでおそらく 4~5 年前のものであろう) ところが全く使われてないと言うので、積載されたビデオシステムを調べたところ、次表に示すように、NTSC システムであることが判明した。

VTR Uマチック (3/4インチ)

モニタ KV-1730R (22インチ)

〃 KV-1201 (17インチ)

外国に対する機材供与には現地のシステム、保守管理事情、等をよく調査しておかないと全く宝のもちぐされになる。今後大いに留意すべきことである。

この Mobil Van は車は大型で正常なので、昨年度の供与機材の中に含まれているビデオプロジェクトをこれに積載して巡回映写をすることが適当と考えられる。

(iii) ポスター

MPCで作ったポスターのプロトタイプを日本に送り、日本で印刷してイ側へ送ることを提案したが、これは本年から、イ側のポリシーが変更となり、不可能であることが判明した。

- 一切の印刷物の輸入は禁止となった
- 自動車などの製品の輸入も禁止となった

なおMPCで作ったポスターのプロトタイプの中で、アイデアの良いものが認められて、プロの手によって立派な印刷物となって出版されていることは前述したが、この事実が MPC にフィードバックされていなかったことは大へん遺憾である。このフィードバックは MPC のスタッフのモチベーションの高揚に大きいかかわりがあるので、ハルヨノ氏に厳重に申し入れをしておいた。

今後作品一覧表にこの項をとり入れる必要がある。

(b) TVRI に対する対策とポリシー

Dr. Haryono の本プロジェクト改革案の中に TVRI の中に MPC を作る構想が入っている。これについて当人および、Tripto 氏にさらにつつこんでたずねたところ、次のようなことが判明した。

(i) TVRI は予算を十分もっていないながら、FP用の作品をあまり多く制作していない。

(ii) FPに関する行事などをTVニュースとして撮影依頼してもすなおに応じることが少かった。

そこで JICA からポータブルTVを供与してもらい、TVRI の中に「MPC」を作りその体制を強化する。

これは、

(i) TVRI の FP 番組制作の補助に用いる。

(ii) FPに関する行事をTV用ニュースとして TVRI のスタッフに撮影してもらい放映する。

(6) これらは MPC の作品として発表する。

はじめは大へん虫のよい話と思ったが、よく検討してみると、資材としてはポータブルTVの提供だけですむこと、またこれによって4月からのMPCの責任者である Dr. Haryono の TVRI に対する発言力が強くなり、その権限の強化につながる事なので、政策的方略として大へん効果が大きくあがる事がわかったのでOKを下した。

ただし、ポータブルTVとしては、TVRI のスタッフの垂涎の的となるような高級なものを提供する必要がある。つまり TVRI のスタッフがわれ先に使いたくなるような高級品を提供する。

ただし実際にこれを提供する段において上記のことを再確認し、あまり効果がない場合には、現 MPC に引き上げることを約束した方がよいと思われる。

(7) 今後の本プロジェクト遂行上のポリシーと方略について

イ国の家族計画を推進するための今後の政策と方略としては次の二つが考えられる。

(a) 小さな部落をモデル地域としてとりあげ、ここに向って MPC の活動を全力投球して成果を上げる。

これには次の準備が必要となる。

(i) 対応部落の事前調査

(ii) それに対する方略と技法の確立

(iii) PR用資材（広報用とフィールドワーカー用のハードウェアとソフトウェア）の製作

(iv) フィールドワーカーの訓練方法の確立と効果的な訓練の実施

(v) フィールドワーカー用資材の供給

装具（レインコート、自転車、オートバイ）

FP用カバン、AV材料

避妊器具、材料の提供

(vi) 成果を評価するための方法の確立

以上は未解決の問題が多く当分実施は困難に見える。

(b) Integrated MPC の拡大と運営の確立〔側面協力〕

FP推進運動に関しては、間接的ではあるが、イ側の政策を側面的に協力する。これには、コンサルタントとしてノウハウ部分からの協力と、資材の提供による協力が考えられる。

幸にして今までの日本の協力により、まかれた種がみのってイ側の広報活動的体制が固ってきたように見られるので、今まで通りイ側のIEC（Information

Education Communication) の活動を協力することに重点をおき、次の諸策を進める。

(i) 現在の MPC の強化

- (イ) スタッフの強化と拡充
- (ロ) スタッフの訓練の強化(ハードウェア、ソフトウェア)
- (ハ) 訓練方法の確立(イ国内、日本招へい)

(ii) MPC 活動の PR の強化

- (イ) MPC 内にその活動の展示室を設置する。
- (ロ) なるべくマスコミ(TV、ラジオ、新聞)に MPC の活動を採り上げてもらうように働きかける。
- (ハ) 政府要人および大衆の関心を集める。

(iii) 日本国内に対策委員会を設ける。

日本国内に学識経験者を依頼して、このプロジェクトの方略と技法を確立する委員会を設定し、諸方策の立案検討を強力に進める。

委員としては、次のフィールドから願ひする。

- | | | |
|------------|---|--------|
| (イ) 外務省 | } | 文部省 |
| (ロ) 教育工学 | | |
| (ハ) 経営工学 | | |
| (ニ) 社会工学 | | 大学、研究所 |
| (ホ) 医学 | | |
| (ヘ) 人文社会学 | | |
| (ト) 家族計画財団 | | |

(c) 日本から派遣の専門家

長期 長期派遣の専門家は少くとも2人以上は必要である。ビデオ作品の要求が高まっているので、この方面の長期専門家1名の派遣方を要請したい。

短期 8月下旬ごろ次の方々が都合がよいので、派遣されたい。

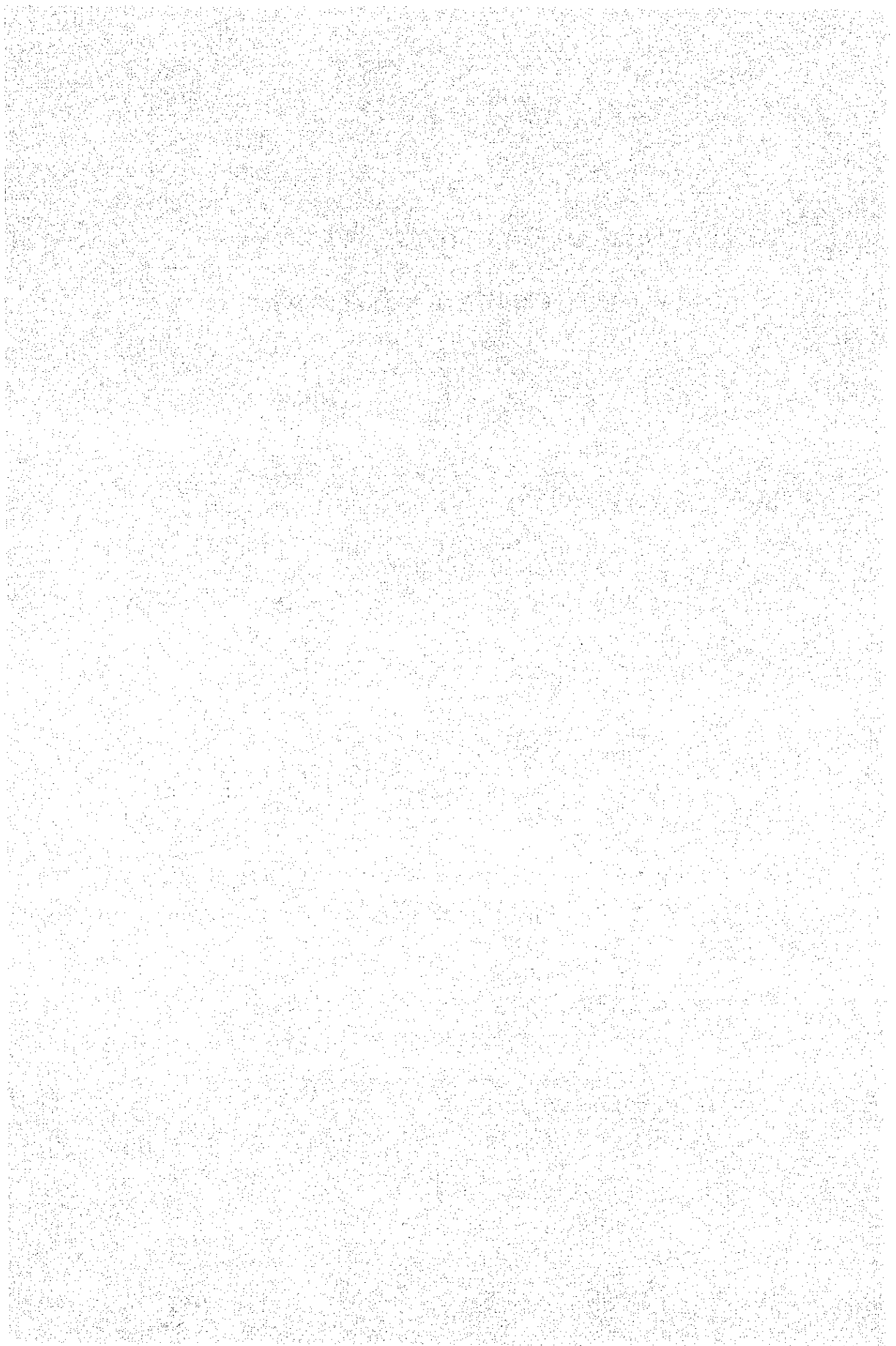
藤田 広一 氏(慶応大学工学部)

- 本プロジェクトの教育工学的評価と改善改革案の作製
- コミュニケーション技術の指導

坂元 昂 氏

フィールドワーカーのトレーナーの教育工学的指導法の指導

V 討議々事録と追加討議々事録



THE RECORD OF DISCUSSIONS BETWEEN THE JAPANESE
IMPLEMENTATION SURVEY TEAM AND THE
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE REPUBLIC OF INDONESIA
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE FAMILY PLANNING PROJECT.

The Japanese Implementation Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as JICA) and headed by Dr. Kunihiro Suetake, Professor of the Tokyo Institute of Technology, visited the Republic of Indonesia from 12, March to 23, March 1980 for the purpose of working out the details of the technical cooperation program concerning the Family Planning Project in the Republic of Indonesia.

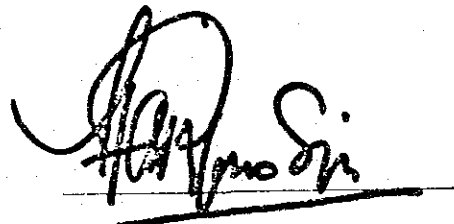
During its stay in the Republic of Indonesia, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Indonesian authorities concerned in respect of the desirable measures to be taken by both Governments for the successful implementation of the above-mentioned Project.

As a result of the discussions, the Team and the Indonesian authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Jakarta 18 March 1980

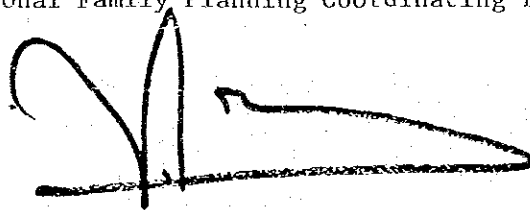
末武国弘

Dr. Kunihiro Suetake
Head of the Japanese
Implementation Survey Team



Dr. Haryono Suyono
Deputy for Family Planning
National Family Planning
Coordinating Board,
(BKKBN-NFPCB)

witnessed
Vice Chairman, National Family Planning Coordinating Board.



Dr. Sarnanto, MPH

THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of Japan and the Government of the Republic of Indonesia will cooperate with each other in implementing the Family Planning Project (hereinafter referred to as "the Project") for the purpose of developing the family planning programmes, and thus contributing to the advancement of welfare of the people in Indonesia.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in Annex 1.

II. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide at its own expense services of the Japanese experts as listed in Annex II through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.
2. The Japanese experts referred to in 1 above and their families will be granted in the Republic of Indonesia the privileges, exemptions and benefits no less favourable than those accorded to experts of third countries working in the Republic of Indonesia under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.

III. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide at its own expense such machinery, equipment and materials necessary for the implementation of the Project as listed in Annex III, through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.
2. The articles referred to in 1 above will become the property of the Government of the Republic of Indonesia upon being delivered c.i.f. to the Indonesian authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation, and will be utilized exclusively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in

Annex II.

IV. TRAINING OF INDONESIAN PERSONNEL IN JAPAN

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to receive at its own expense the Indonesian personnel connected with the Project for technical training in Japan through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.
2. The Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Indonesian personnel from technical training in Japan will be utilized effectively for the implementation of the Project.

V. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF INDONESIA

1. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Indonesia, the Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to provide at its own expense:
 - (1) Services of the Indonesian counterpart personnel and administrative personnel as listed in Annex IV;
 - (2) Land, buildings and facilities as listed in Annex V;
 - (3) Supply or replacement of machinery, equipment, instrument, vehicles, tools, spare parts and materials necessary for the implementation of the Project other than those provided through JICA under III above;
 - (4) Transportation facilities and travel allowance for the Japanese experts for the official travel within the Republic of Indonesia;
 - (5) Suitably furnished accommodation for the Japanese experts and their families.
2. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Indonesia, the Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to meet:

- (1) Expenses necessary for the transportation within the Republic of Indonesia of the articles referred to in III above as well as for the installation, operation and maintenance thereof;
- (2) Customs duties, internal taxes and any other charges, imposed in the Republic of Indonesia on the articles referred to in III above;
- (3) All running expenses necessary for the implementation of the Project.

VI. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to the Indonesian staff associated with the Project pertaining to the implementation of the Project, and the Indonesian authorities concerned will be responsible for the administrative and managerial matters pertaining to the Project.
2. For the successful implementation of the Project, the Coordinating Committee will be established with the members as listed in Annex VI.

The Committee will meet at least once a year.

The functions of the Committee are;

- (1) To give guidance of the annual plan of action for the Project,
- (2) To review the implementation of the Project,
- (3) To advise the Indonesian authorities concerned about the implementation of the Project at all stages and at all levels.

VII. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

The Government of the Republic of Indonesia undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Republic of Indonesia except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VIII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two Governments on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

IX. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be three years from the date of signature.

ANNEX I

MASTER PLAN

1. The outline of the Project.

The Project aims to improve the activities of information and education, and other related activities for family planning, with special emphasis on the activities in the Media Production Center (MPC).

2. Implementation

The National Family Planning Coordinating Board of the Government of the Republic of Indonesia (BKKBN) has overall responsibilities for the implementation of the Project, with the guidance of the Coordinating Committee. The Government of Japan will cooperate the Government of the Republic of Indonesia in carrying out the Project through dispatch of Japanese experts, acceptance of Indonesian personnel for training in Japan and provision of equipment.

3. Activities under the Project.

The main activities of the Project will be to improve the way of developing of software prototype production by using AV systems, and the Project will consist of the following activities;

- (1) Improvement of audio-visual education.
- (2) Training of Indonesian staff assigned to the Project.
- (3) Other related activities mutually agreed upon as necessary.

ANNEX II

JAPANESE EXPERTS

1. Expert for long term.

- (1) Expert in audio - visual education.

2. Expert for short term.

- (1) Expert in hardware for audio-visual education.
- (2) Expert in software for audio-visual education.
- (3) Expert in other related fields mutually agreed upon as necessary.

One of Japanese experts will be nominated as a Team Leader.

ANNEX III LIST OF THE ARTICLES

Machinery, equipment and materials for the Project mutually agreed upon as necessary.

ANNEX IV LIST OF INDONESIAN STAFF

1. Project manager
2. Hardware technician
3. Software production technician
4. Family planning specialist
5. Counterpart in other related fields mutually agreed upon as necessary.

ANNEX V LIST OF LAND, BUILDING AND FACILITIES MEDIA PRODUCTION CENTER.

ANNEX VI COMPOSITION OF THE ADVISORY COMMITTEE

CHAIRMAN

(Deputy for Family Planning)

Indonesian side:

Staff of Indonesia University
Ministry of Information
Indonesia TV
Radio Republic of Indonesia
Ministry of Education
PTC & NTC
BKKBN

Japanese side:

Team Leader
Experts
A JICA Staff

An official of the Embassy of Japan may attend as an observer.

Supplementary Note
on
the Record of Discussions
on
the Japanese Technical Cooperation
for
the Family Planning Project

According to the request by the Indonesian Authorities concerned Japan International Cooperation Agency agrees to amend the following parts of the Record of Discussions between the Japanese Implementation Survey Team and the BKKBN of the Government of the Republic of Indonesia on the Japanese Technical Cooperation for the Family Planning Project that was signed by Dr. Kunihiro Suetake and Dr. Haryono Sujono on March 18, 1980.

Amendments;

V. Measures to be taken by the Government of the Republic of Indonesia.

1-(5) The sub-paragraph reads;

"Furnished existing accommodations for the Japanese Experts and their families".

VI. Administration of the Project.

The paragraphs read;

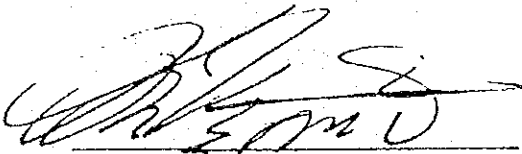
1. The Project Manager appointed by the National Family Planning Coordinating Board will be responsible for the administration, management and implementation of the Project, and the Japanese experts will provide necessary technical guidance and advice for the implementation of the project.
2. For the effective implementation of the Project, the Advisory Committee consisting of the members as listed in ANNEX VI, will be established and meet at least once a year. The functions of the Committee are;
 - (1) To give guidance of the annual plan of action for the Project;
 - (2) To review the implementation of the Project; and
 - (3) To advise the Indonesian authorities concerned about the implementation of the Project at all stages and at all levels.

2. Implementation

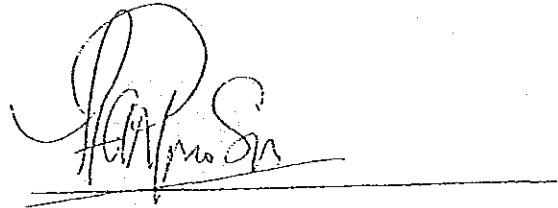
This paragraph reads;

The National Family Planning Coordinating Board of the Government of the Republic of Indonesia (BKKBN) has responsibility for the implementation of the Project, with the advice of the Advisory Committee. The overall responsibility will rest with the Government of the Republic of Indonesia. The Government of Japan will cooperate with the Government of the Republic of Indonesia in carrying out the Project through dispatch of Japanese Experts, acceptance of Indonesian personnel for training in Japan and provision of equipment.

Jakarta, August 6, 1980

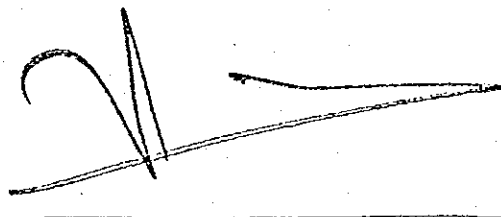


Mr. Moriya Miyamoto
Resident Representative
JICA Jakarta Office



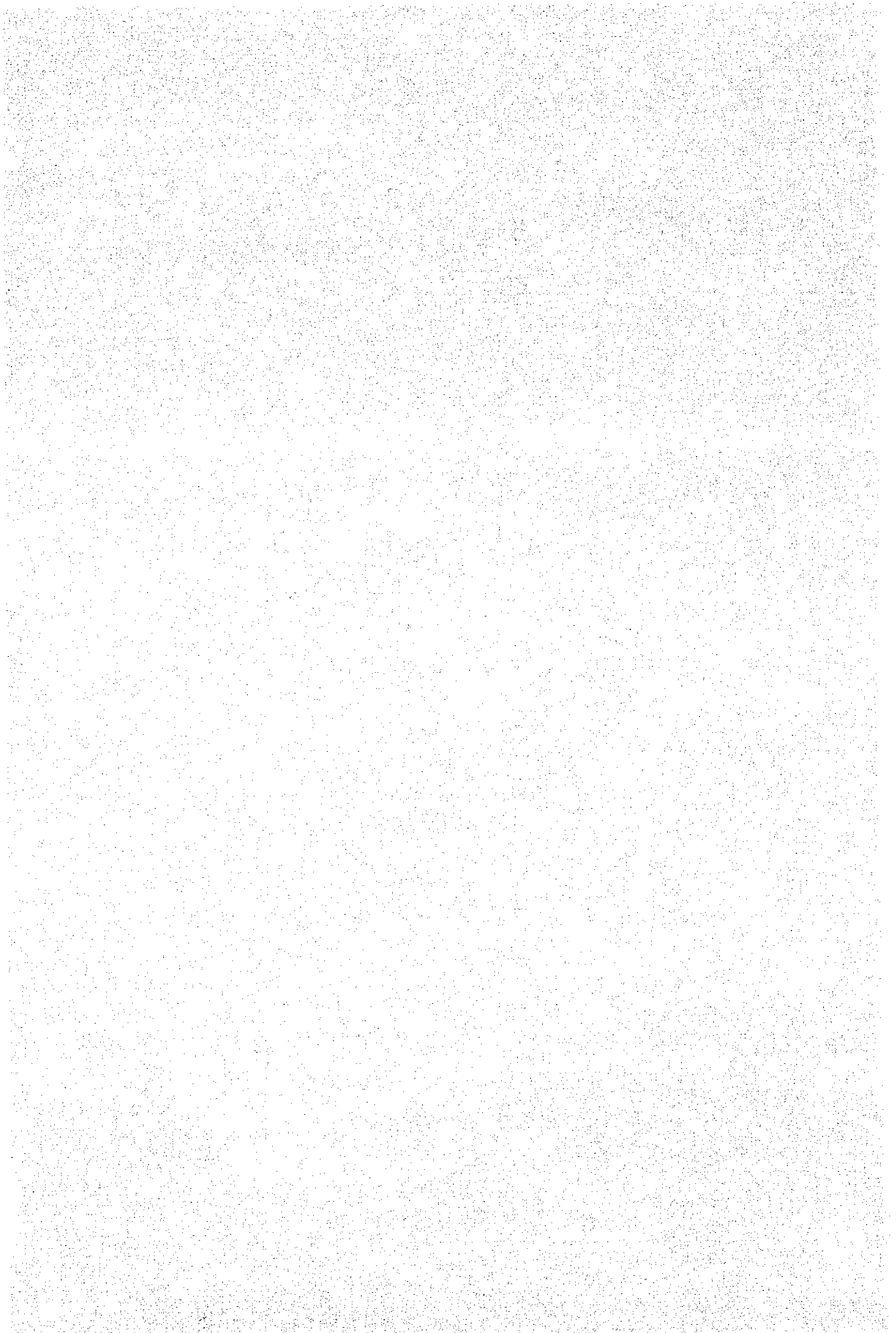
Dr. Haryono Suyono
Deputy for Family Planning
National Family Planning
Coordinating Board,
(BKKBN-NFPCB)

Witnessed
Vice Chairman
National Family Planning Coordinating Board



Dr. Sarnanto, MPH

Ⅵ 討 議 々 事 録 控 え



NOTE OF RECORD OF DISCUSSIONS

The plan for Technical Cooperation Project on Audiovisual Software Prototype Production for Family Planning was realized under the Record of Discussions (the R/D) mutually signed by the representatives of both parties on March 18, 1980)

The followings are detailed items discussed for effective implementation of the Project.

1. Japanese experts (ANNEX II of R/D)

- a) Two long term experts in audio - visual education may be dispatched to the Project.
- b) Shortterm experts may be dispatched for training Indonesian production staff of the Project.
- c) Japanese experts will hire an assistant to work with them for the Project.

2. Equipment and materials (ANNEX III of R/D) Equipment and materials for the Project will be supplied.

3. Indonesian staff (ANNEX IV of R/D)

1. Attached Document 1.

2. Training of Indonesian staff in Japan

Two or three production staff may be accepted for training in Japan, but the selection of trainees will be done in close consultation with the Japanese expert.

4. Land, buildings and facilities. (ANNEX V of R/D)

Three (3) rooms for Mini Studio, office and storage will be available at the Jalan Radio Dalam Kebayoran Baru, Jakarta.

5. Advisory committee (ANNEX VI of R/D)

ATTACHED DOCUMENT 2

6. Master Plan (Annex I of R/D)

Indonesian side explained on the mechanism of M.P.C. - activities as follows.

ATTACHED DOCUMENT 3

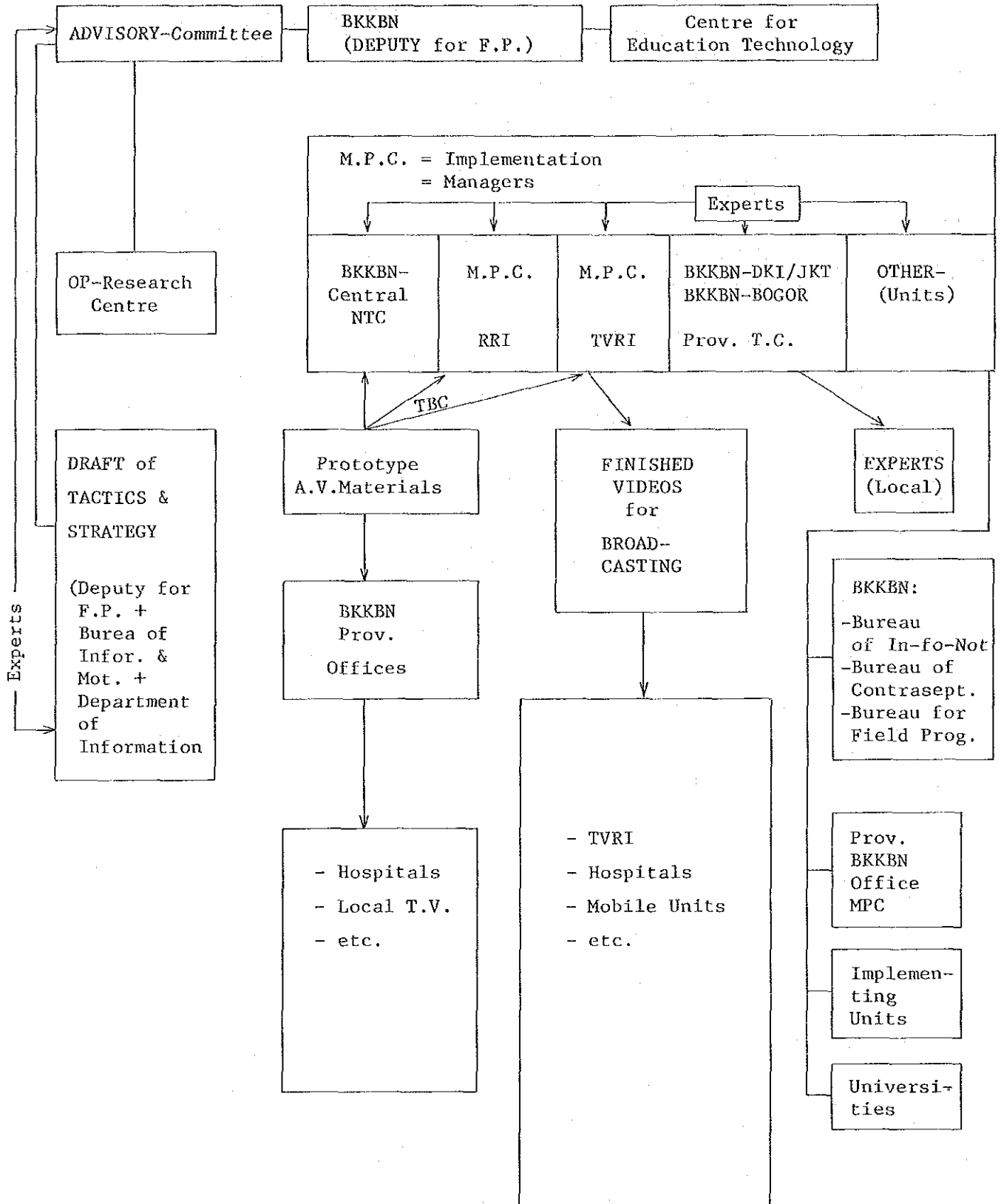
LIST OF INDONESIAN STAFF

1. Project Manager : Dr. Haryono Suyono
2. Vice Project Manager : Drs. Bambang Suryopranoto
3. Director : I.M.P. Tantrawan
4. Hardware technician : Asto
5. Software technician : Turipto, Assistant : Sumarsono
6. Family Planning Specialist : Mrs. D. Suparta
7. Counterpart in other released field mutually agreed upon
if necessary
 - a. Drs. Harsono Suwardi MA : Communication Researcher
 - b. Dr. Suhartati P. Pandi : Head of National Training Center.

ADVISORY COMMITTEE

- | | |
|--------------------|---|
| Chairman | : Dr. Haryono Suyono |
| Vice Chairman | : Drs. F. Rachmadi (Indonesia University)
Drs. Tjuk Ahmadi (Dept. of Information
Assistant Minister of Information)
Drs. Harsono Suwardi, MA (Indonesia
University Dean of Mass Communication) |
| Secretary | : Drs. Bambang Suryopranoto |
| Vice Secretary | : Dra. Sumarni |
| Members | : Supomo (Director of Indonesia TV)
M. Sani (Director of RRI)
Datuk Rangkayo Basa (PTC)
Dra. Suyatni (")
Dr. Dunarti Sudomo (")
Dr. Hartati P. Pandi (NTC)
Drs. Sudarsono Sudirdjo, M.Sc.
(Ministry of Education)
Sumarsono, SKM (Ministry of Education)
Drs. Herman Hidayat (Ministry of Education) |
| Ex. Officio Member | : I.G. Tantrawan. |

MECHANISM OF M.P.C. - ACTIVITIES

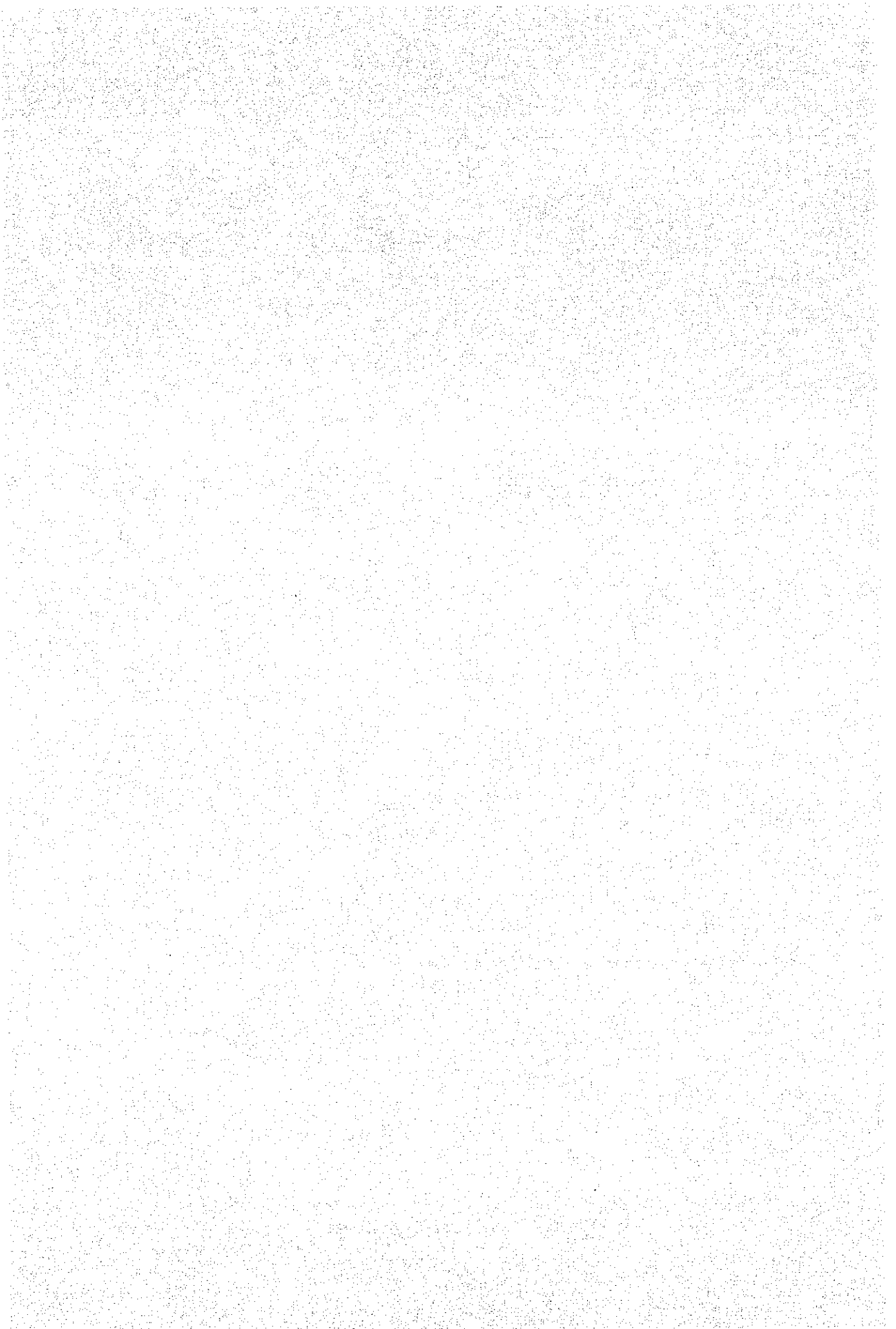


Ⅹ 付 属 資 料

家族計画協力計画(案)策定のための
専門家チーム及び討議々事録の署名
交換のための専門家チーム報告書

目 次

I	専門家チーム派遣の経緯及び目的	39
II	専門家チームの編成	40
III	専門家チームの活動内容	41
	別添 1. MEMORANDUM	42
	別添 2. HOW TO PROMOTE FAMILY PLANNING IN INDONESIA	44
	別添 3. 討議々事録	46
	別添 4. EXPLANATORY NOTES FOR THE TECHNICAL COOPERATION PROJECT ON AUDIO - VISUAL SOFTWARE PROTOTYPE PRODUCTION FOR FAMILY PLANNING	73
	別添 5. 昭和52年度一般機材要請リスト	76
	別添 6. 昭和52年度特別機材要請リスト	85
	別添 7. 昭和51年度繰越分一般機材要請リスト	86
IV	添付資料	
	教育工学による「インドネシア国の家族計画推進プラン」 の出来るまで(末武国弘)	89



I 専門家チーム派遣に至る経緯及び目的

昭和51年8月インドネシア国に派遣された家族計画協力計画打合わせ調査団による報告書「医76-11(160)」により家族計画協力の将来の方向として、家族計画普及員、一般民衆の教育、啓蒙をより多角的、効率的に実施するための媒体(視聴覚ソフトウェア)開発が示唆された。

これを受けて当部としてはわが国における本件分野の協力能力を有する機関の選定を急いだ結果幸い東京工業大学末武国弘教授の協力が得られ、同教授を中心として今後の基本構想を策定すると共により専門的な見地から更にインドネシア国の実情に合致した計画の具体化を計るために、昭和52年3月視聴覚教育専門家チームを派遣した。(Ⅱ 専門家チームの編成②参照)

同チームはインドネシア国内の普及活動の調査、インドネシア国側関係者との討議を通じ家族計画、普及媒体製作センター(Family Planning Media Production Center)の概略的構想を別添Iメモランダムのように取りまとめた。

同チームの帰国後、派遣前の構想及び現地調査結果に基づき日本側の具体的協力案(別添Ⅱ インドネシア国に対する家族計画協力案)が策定されるに至り、この日本案をインドネシア国側関係者に提示し、討議、調整を行い、これを討議々事録の形でとりまとめ、更に当面の双方における具体的行動を明示するため今回専門家チーム(Ⅱ 専門家チームの編成①参照)を派遣する運びとなった。

Ⅱ 専門家チームの編成

1. 討議議事録の署名交換のための専門家チームの編成

名 前	所 属
小 林 和 正	京都大学東南アジア研究センター、教授
末 武 国 弘	東京工業大学教授
高 原 亮 治	厚生省統計情報部
橋 本 明 彦	国際協力事業団医療協力部

※ 派遣期間・昭和52年7月14日～7月28日

(但し末武専門家は7月15日～7月21日)

2. 家族計画協力計画(案)策定のための専門家チームの編成

名 前	所 属
末 武 国 弘	東京工業大学教授
石 浜 淳 美	小山市立病院長
半 田 雄 三	
坂 本 昂	東京工業大学教授
清 水 康 敬	東京工業大学助教授
二 見 武	家族計画国際協力財団

※ 派遣期間・昭和52年3月11日～3月25日

但し 半田専門家は 3月11日～4月10日

石浜専門家は 3月11日～3月19日

清水専門家は 3月12日～3月25日

Ⅲ 専門家チームの活動内容

専門家チームは、7月14日より28日までの滞在中その前半を末武教授を中心としてわが方協力案の説明、センター設置候補地の調査に当たった。

同日本案については英語版作成送付が遅れた為、インドネシア国における検討が充分なされていなかったこともあり、当初理解されにくい面もあったと思われるが、同教授の視聴覚機材を駆使した集中的な説明により、最終的にはほぼ完全な理解と同意が得られたものと思われる。

センター設置候補地はこの専門家チームの派遣前インドネシア国側よりRRI（インドネシア国営ラジオ）ビル8階の一部、RRIトレーニングセンターの一部及びRRIスタジオ用建物の一部の3ヶ所が提示されたが、本件協力目的に適していると思われる前二者について集中的に調査した結果、スペース、環境等の見地よりRRIトレーニングセンターの一部を使用する線でインドネシア国側の同意を得た。

スケジュールの後半は討議議事録のとりまとめ、昭和52年度中に日、イ、両側にて取られるべき具体的行動の明示化、及び前年度繰越分、本年度分供与予定機材の本件協力内容に沿った形での具体化を行った。

討議議事録については専門家への便宜供与（車輛の提供）につき若干の疑問が提示されたものの最終的には当方案に何らの変更を加えることなく（わが方供与予定車輛を優先的に専門家に供与する線で合意）別添3. 討議議事録により合意が成立した。

又今年度内の具体的行動については、別添4. Explanatory Notes を交換したので、今後それぞれの項目につきフォローしていくことが肝要であると共に、各年度毎に前年度の進行状態をチェックしたうえ、年間行動計画を策定していく必要があるものと思われる。

最後に当面の必要供与機材について別添5. 6. 7. のリストのように双方合意のうえアイテムをとりまとめた。

別添 1.

MEMORANDUM

1. The Expert Group dispatched by the Government of Japan negotiated with the Government of Indonesia (National Family Planning Coordinating Board and Department of Information) from March 12 to 24, 1977 on the mutual cooperation for the Family Planning Media Production Center (tentative name, referred as Center hereafter).
2. The Center will:
 - i) produce the prototypes of video, cinema and audio educational materials, materials for educational equipments and printed materials,
 - ii) conduct training for the manpower to achieve the above objective and
 - iii) carry out the activities in order to attain the forementioned two objectives based on the mutual agreement reached after due negotiation in the future.
3. The prototypes produced by the Center are expected to be utilized for the following purposes:
 - i) Family planning and population IEC programmes implemented by the Ministry of Information and other related agencies,
 - ii) Education and training programmes and
 - iii) IEC activities in the field.
4.
 - i) The NFPCB will take the responsibility of evaluation.
 - ii) The NFPCB's Training Component will establish working relationship with the Center, for accomplishing of the audio visual materials need for its field.
 - iii) The NFPCB's Component will establish working relationship with the Center, for enhancing its program.
5. The NFPCB will assume responsibility as contacting agency from the preparatory stage to the operational stage of the Center project.
6. The implementing agency of the Center project will be the Ministry of Information.

7. The responsibility for the elements required for the establishment of the Center will be shared as below;
 - a) land: by the Government of Indonesia (Department of Information)
 - b) building: The Government of Indonesia inquired the Expert group of the possibility of supplying the Center Building (excluding the land).

The expert group explained that this sort of cooperation is classified by the Government of Japan as a technical cooperation. It principally makes it difficult for the Government of Japan to accept the said request, and the Expert group answered that they would report the fact requested by the Government of Indonesia to the Government of Japan. However, eventual responsibility for construction of the building will be borne by the Government of Indonesia.
 - c) equipment and technical assistance: by the Government of Japan
8. The Government of Indonesia (Ministry of Information) will temporarily provide necessary office facilities and the tentative space until the Center Building has been constructed.
9. The Government of Indonesia (NFPCB, Department of Information) will recruit the qualified staff members and appropriate staff members immediately after the Project has been set forth.
10. The Government of Japan will provide fellowship and dispatch experts to achieve the objectives specified in the item 2.
11. The Government of Japan and the Government of Indonesia will exchange the details of intended future design of the Center Project by the end of June 1977.
12. Each item from 1 to 11 is only tentative and does not imply any commitment of both parties. The agreement in details will be finally decided by the Record of Discussions to come.
13. The Expert group requested the NFPCB to modify the contents of the commodities list for the Japanese fiscal year 1976 submitted to the authorities of Japan as of February 1, 1977 so that the commodities to be supplied may be more adequately utilized for the Center Project.
14. The both parties appreciate each other the friendly and cooperative discussion so far made.

HOW TO PROMOTE FAMILY PLANNING IN INDONESIA

PART I.

1. Basic Idea

It is needless to say that family planning is not just to force people to make birth control by using various means of contraception but it aims at a fruitful and humanly living, as often referred to "let's make a small and happy family." In order to attain the above objective, 1) improvement in education, and 2) improvement in sanitary sense have to be taken up first in the family planning.

Items	Methods	Tactics
Improvement in education	Improvement in the method of education	Introduction of simple and effective Audio Visual techniques
	Improvement in higher school attendance rate	Introduction of 2 or 3 shifts system
	Better compensation for teachers	
Improvement in sanitary sense	Bigger campaign for health and sanitation	Publicity by TV and movies
	Simple facilities to improve sanitary sense	
Diffusion of the idea of family planning	The idea to be publicized (IEC) Provision of necessary medicine and equipment	Described below

2. Methodology of IEC for Family Planning

What is most important in education is, to cultivate the creativity of the learner based on his own initiative.

Accordingly, it is very important to select the best way from the varieties of educational techniques in which we would bring up learners' creativities. Recently we understand that there are three methods in teaching learning process, namely A) Discovery Method, B) Inductive Method and C) Inductive Discovery Method.

Among these three methods, the Discovery method requires a lot of time, while the Inductive method does not require so much time, but the educational effects are doubtful. Thus we can utilize a combination of the two methods, which is called "Inductive Discovery Methods."

In propagation of family planning, too, the Discovery method which will motivate the masses to practise it on their own way is ideal; but it will take a lot of time. There is the Inductive method which will induce them to do it; but, again, the effects are doubtful. Therefore, we must think of the Inductive Discovery Method in the operation of family planning activities.

3. Actual Tactics

a. Motivation activated

As actual tactics, it might be preferable to show educational programs to stimulate one's motivation in a natural way either on television or by a travelling mobile van. At the same time it will be necessary to incorporate the semi-inductive method of teaching into government policies relating to family planning.

b. Approach to government policy makers

To promote the campaign of family planning some propaganda work will be necessary from time to time to obtain the understanding of those connected with policies.

As for the television program, as long as the idea and the comments (scenario) are good, the artistic quality of the program is not required so much.

c. Training of field workers

Field workers who actually meet citizens are expected to play a very important role. Therefore training of the field workers together with the development of a portable audio visual equipment which is simple to handle and easy to carry, and instruction about the use of the equipment

will thus become necessary.

As for the short course on family planning, it will be effective if the course is given on a group basis, because the attending people may not be embarrassed and it will help them build up the community spirit. Minilizer can be effectively utilized in raising the community spirit.

These tactics mentioned above should be first applied to selected areas and carried out on a trial basis, making sure their effects.

For that purpose the production of prototype media over which a memorandum has been exchanged between Japanese team and BKKBN can be considered best suited in Indonesia from the view-point of educational technology and is also suitable for measuring the effects.

4. On the Production of Prototype Media

As prototype media, the followings have been considered:

(1) Educational video material

- For those in charge of government policies;
- For motivating the masses;
- For individual acceptors;
- For the training of field workers

(2) Printed material

(3) Teaching machines

(4) Models for demonstration

An important point regarding the production of these materials and the selection of equipments is that too much attention should not be paid to the hardware.

Their effects depend not only on the hardware but also on the software and the useware (way of use). That is, they depend on a harmonized combination of hardware, software and useware.

However expensive the hardware may be, it will serve very little if it is not used properly. The matching of these three wares is the key point for the effectiveness.

The actual method of selection is given on a separate sheet. The main points are as follows:-

A. Effects of video material

Television sets widely used now in Indonesia are in black and white. They are installed at assembly halls of villages, and it is reported that several hundred people are watching them every night. The number of TV sets installed was 600 the year before last, 3,000 last year, and additional 3,000 are expected to be installed this year. Since more sets are expected to be installed from the next year onward, the use of video material will be fairly effective.

One method which is being considered is to select some of the prototype films to be shown on television and also to transfer them onto 8mm films for mobile vans. Because recent models of 8mm projectors have brightness equivalent to that of 16mm projectors, moreover with lower costs.

B. Film showings by mobile vans.

The film showing by mobile vans may not be effective unless conducted about once a week.

- 1) A full-length film is expected to be shown one at one place (some of the audience don't feel like seeing twice the same film).
- 2) Short films, comics and spot films can be repeatedly shown for a few times as long as there is some interval between showings. In fact better effects can be expected from the repetition.

For one showing in two and a half hours, the following numbers of films will be necessary:-

Stories	30 min. x 3 = 90 min.
Short	10 min. x 3 = 30 min.
Spot	2 min. x 10 = 20 min.

If these films are made in the conventional way they will require so much labor and large costs. It will therefore, be desirable, to develop a "simplified, KINECO which is an equipment to convert video materials into 8mm films.

C. Points to be considered regarding the production of video material

As to the selection of equipment, the followings may be recommended in view of the possibility that some of the films may be shown on television.

1. Adoption of the PAL system. (The Japanese system is same as the NTSC system of the U.S. which cannot be applied to Indonesia)
2. Adoption of a simple production method by using VTR with an electronical editing mechanism (3/4 inch cassette).
3. Use of time-base corrector is necessary in case of television broadcasting.
4. Use of air-conditioner and dehumidifiers in the studio because of the high humidity.
5. All the equipment should be dual in order to meet the expected mechanical failures and one or two technicians should be trained to carry out simple repair work (90% of the anticipated mechanical failures can be corrected).

D. Points to be considered regarding the production of other material

With regard to printed materials teaching machines and models, the followings should be taken into consideration:-

- a. High temperatures and high humidity.
- b. Use of battery-operated types since commercial power supplies are sometimes difficult to obtain.
- c. Handiness and simplicity of operation.
- d. There is no need to think too much about the manpower needed. It is more important to select equipments with the view point of easiness for production works.

E. Training of production staff

Staff - members are expected to have

- a. interest and enthusiasism work,
- b. a fairly good sense,
- c. ability to work in a team.

For the recruitment of production staff, the selection of personnels is preferable to be done through a training program. (see the separate sheet)

Therefore, they would following processes before they were finally assigned as a production staff. First, they will try to produce a simple material. Their finished pieces should then be studied and evaluated among themselves. Then the results should be fed back to let them acquire production techniques by experience.

1. Staff required:-

a) Hardware technician 2 to 3
with some knowledge about electricity

b) Software staff for producing 5 to 6

{ Video material
Printed material
Slides
Simple Models for demonstration

2. Software staff with following talents

- a) to write scenarios,
- b) to have a good voice,
- c) to have a sense for acting,
- d) to write and draw patterns.

Of course, it is not easy to find persons who can meet all these requirements. Therefore, we should be content with a combination of persons with at least one of the talents abovementioned.

What is important is the ability of them to work in a team.

Production can start with a small number of staff. After the initial training, selected ones receive further training in Japan. Then, they return home and receive training once again more, together with new recruits under the guidance of Japanese experts. To increase the staff gradually in this way in perhaps the most effective way.

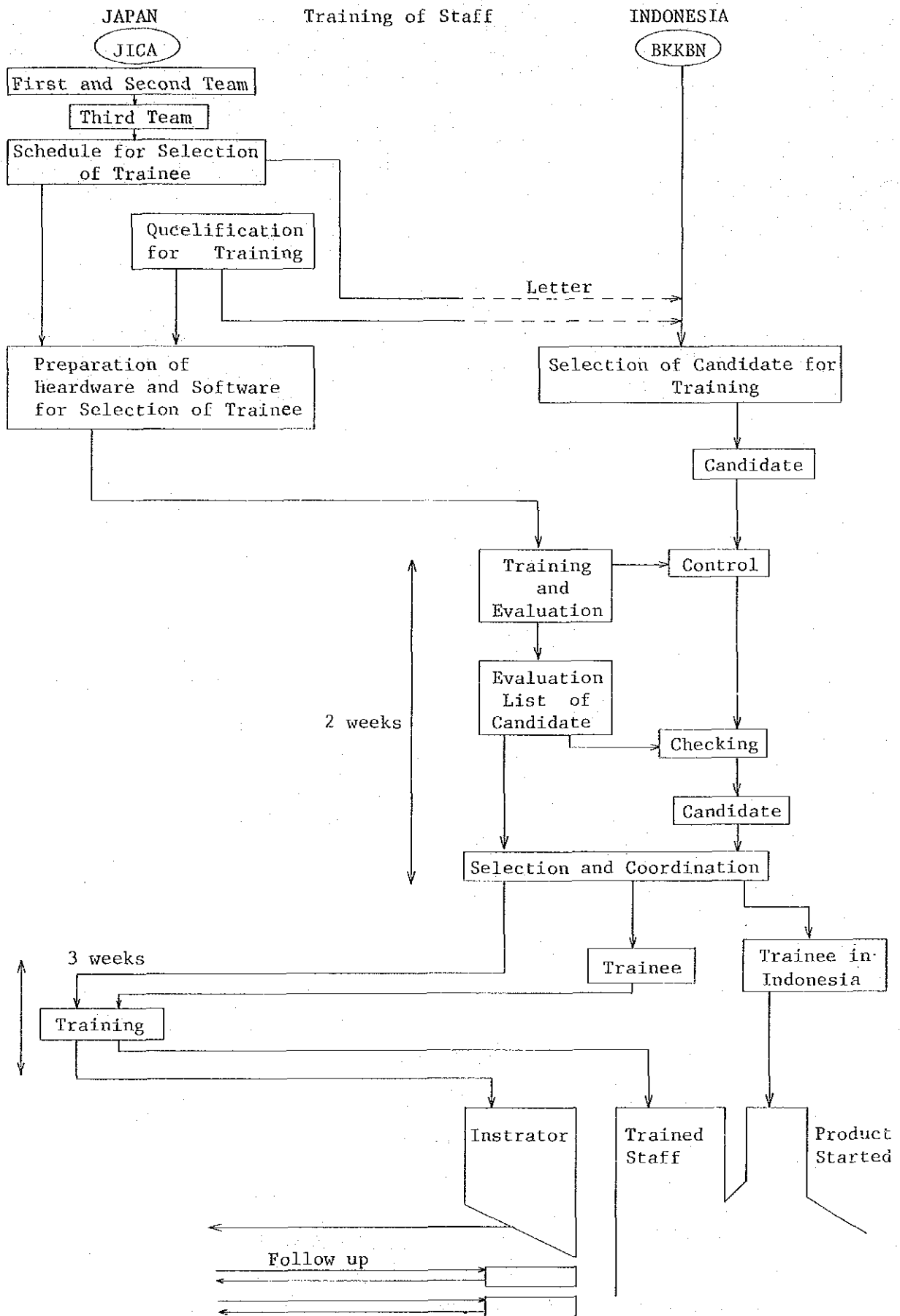
3. Recruitment and training of scenario writers

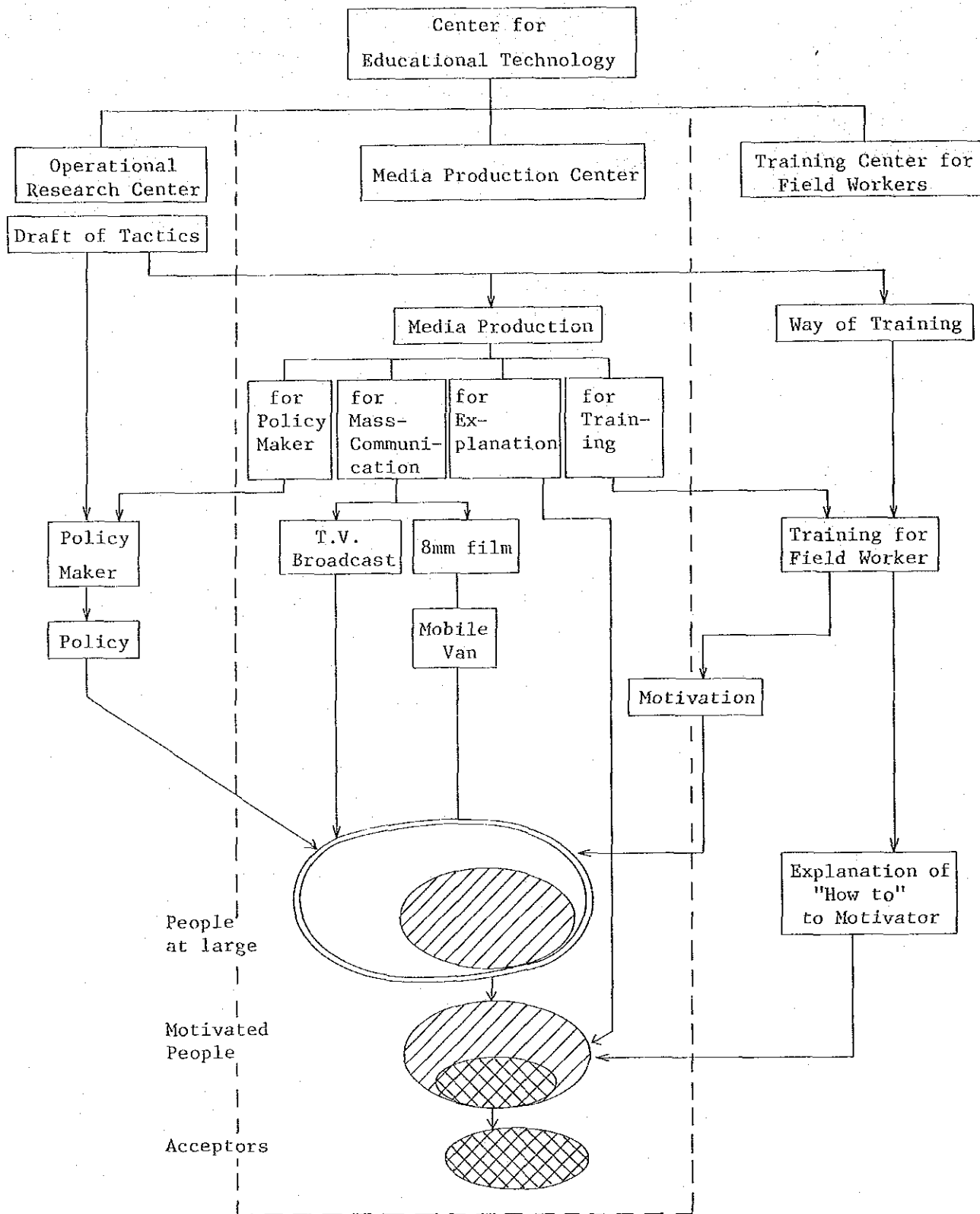
- a) Candidates should be recruited from among specialists, doctors, teachers, nurses and students (medicine, education, and literature), and let them write scenarios.

b) Writing a scenario

1. Ask a specialist.
2. Invitation to scenario contests (through newspapers, radio, television and magazines) will be an effective way to publicize family planning.
3. Ask the "folkstory teller" in cities, towns and villages.
4. Translation of foreign scenarios from Japan, Denmark, Sweden, Germany and the U.S.

These measures can be combined to produce a scenario.





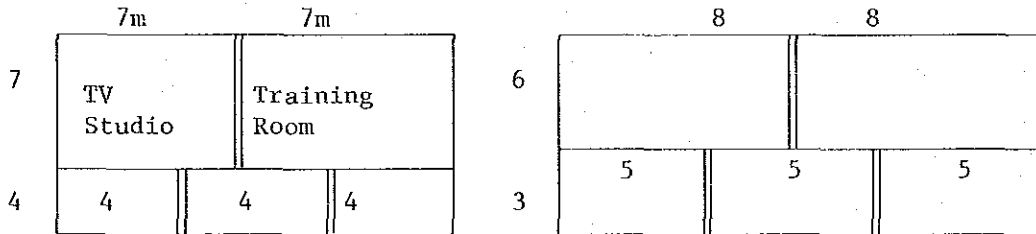
In this project our cooperation is being considered within the dotted line. But from the viewpoint of educational technology it is necessary to make some organic association with the area out of the dotted line.

PART II. Production of Prototype Media and a Proposed Plan of the Training Room for Field Workers

Two rooms of about 50m² each will be necessary for the Video studio and the training room for field workers. In addition, three rooms of 15m² each adjacent to the first two will be needed.

An apartment in a RC building with 5 rooms, Dining room and k... Kitchen may be considered for the purposes.

A or B

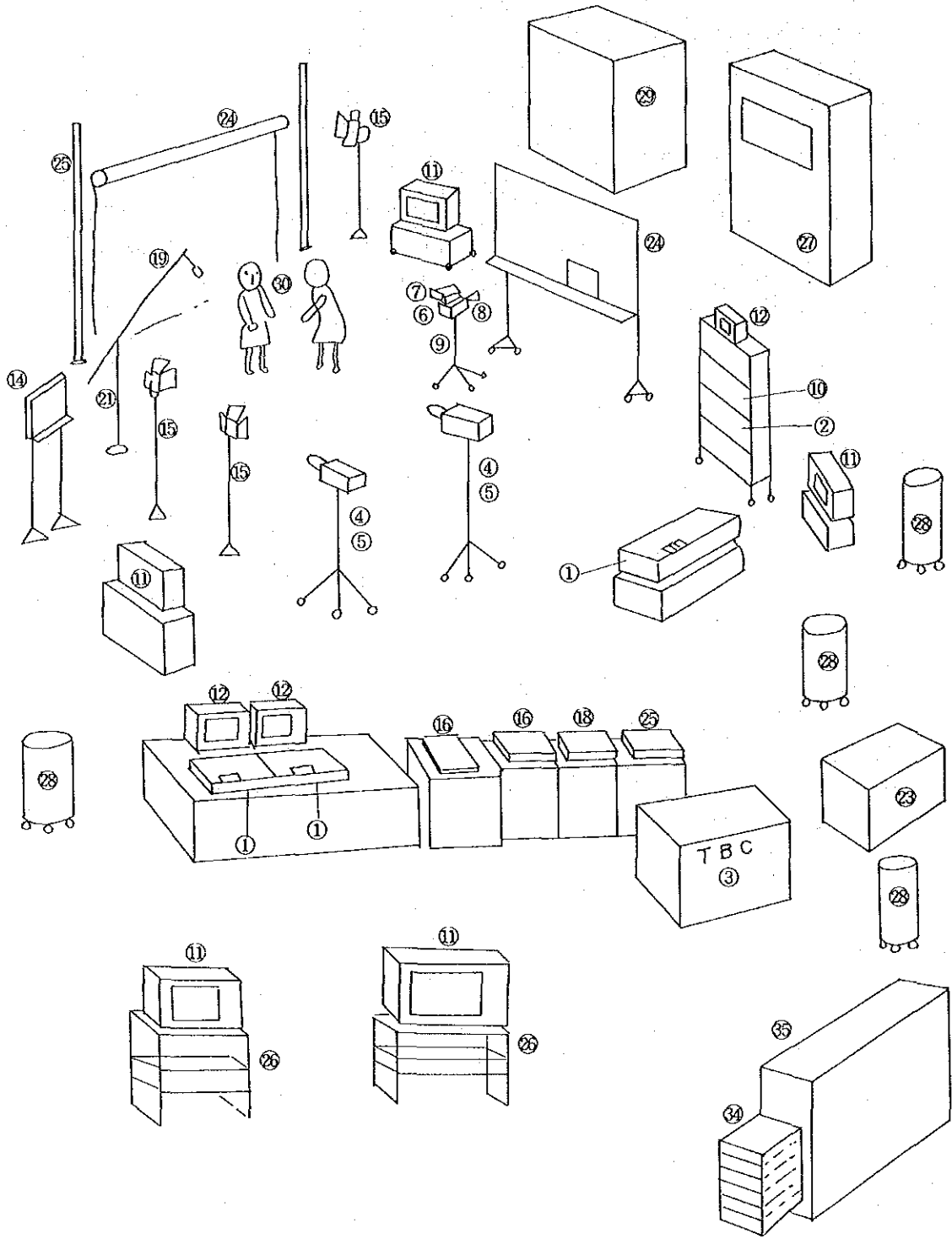


Equipment for a Mini-studio

<u>Specifications</u>	<u>Quantities</u>
1. VTR (PAL System and Electronical Editing mechanism)	3
2. Remote Control Editor for the above	1
3. Time-base Corrector	1
4. Color Camera (PAL)	2
5. Tripod Dolly	2 pairs
6. Black and White Camera Telop (CCIR)	1
7. Finder for the above	1
8. Push-up Zoom for the above	1
9. Tripod Dolly for the above	1 pair
10. PAL System Telop Adapter	1
11. 18" Monitor TV (PAL)	5
12. 13" Monitor TV (PAL)	3
13. Mobile Rack for Video Equipment	10
14. Flip Board	2
15. 220V Lighting Kit	2
16. Tape Recorder (open)	2
17. Tape Recorder (Cassette)	1
18. Microphone Mixer	1
19. Microphone (Stand)	2
20. Microphone (Tie-pin)	2
21. Boom Stand for Microphone	2
22. Headphone	4
23. Extention Cord for Microphone	5
24. Large Color Back screen for Horizont	3
25. Suspension Fittings for the above	1 pair
26. Steel Blackboard	2
27. Record Player	1
28. VTR (PAL-NTSC) for use of Reproduction Only	2
29. Air Conditioner (Package Type)	1
30. Dehumidifier	5
31. Announce Booth	1
32. Material	1
33. Installation Costs	1
34. Instructional Video Material for Program Production	2
35. Stabilized Power Unit	1

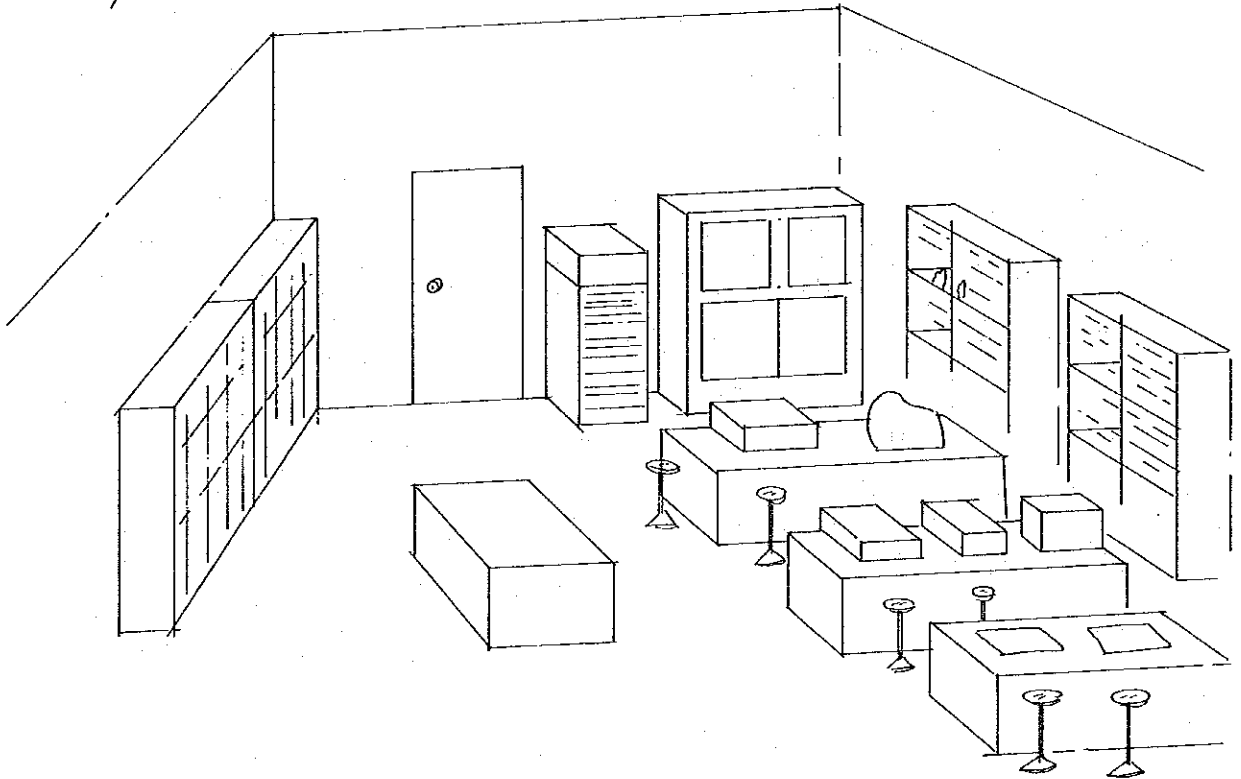
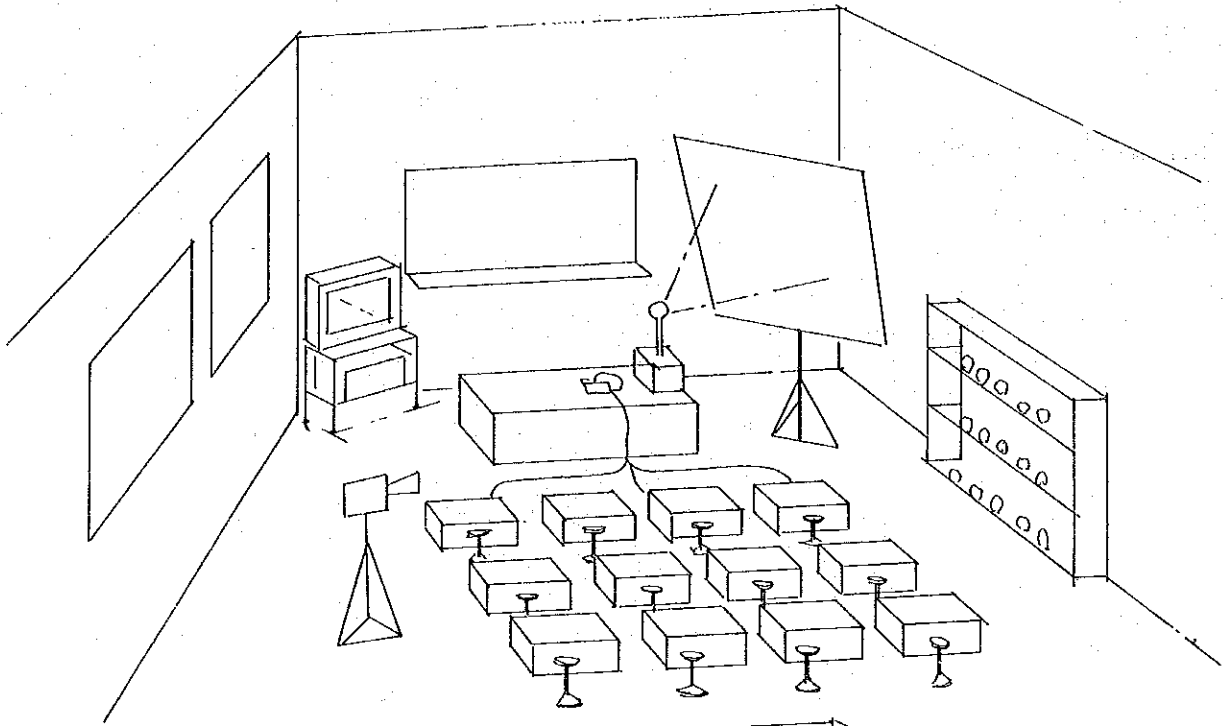
	<u>Specifications</u>	<u>Quantities</u>
<u>Expendables</u>		
Bulbs for Lighting		30
Mercury Cell (for microphone)		10
Cassette Video Tapes		
10 min.		60
20 min.		60
30 min.		60
60 min.		36
Audio Tape Cassette (60 min.)		24
Audio Tape Open (60 min.)		24
<u>Stationary</u>		
Transparent Sheet		
Flock Paper for patterns		
Scissors		
Brushes		
Poster Colors		
Magic Ink		
Ruler		
Cutter Knife		
Cellotape		
Double Surface Tape		
Magnet Button		
Simple Kineco		
34. Filing Box (Case		5
35. Filing Shelves		2

Layout of Mini-Studio



Training Center

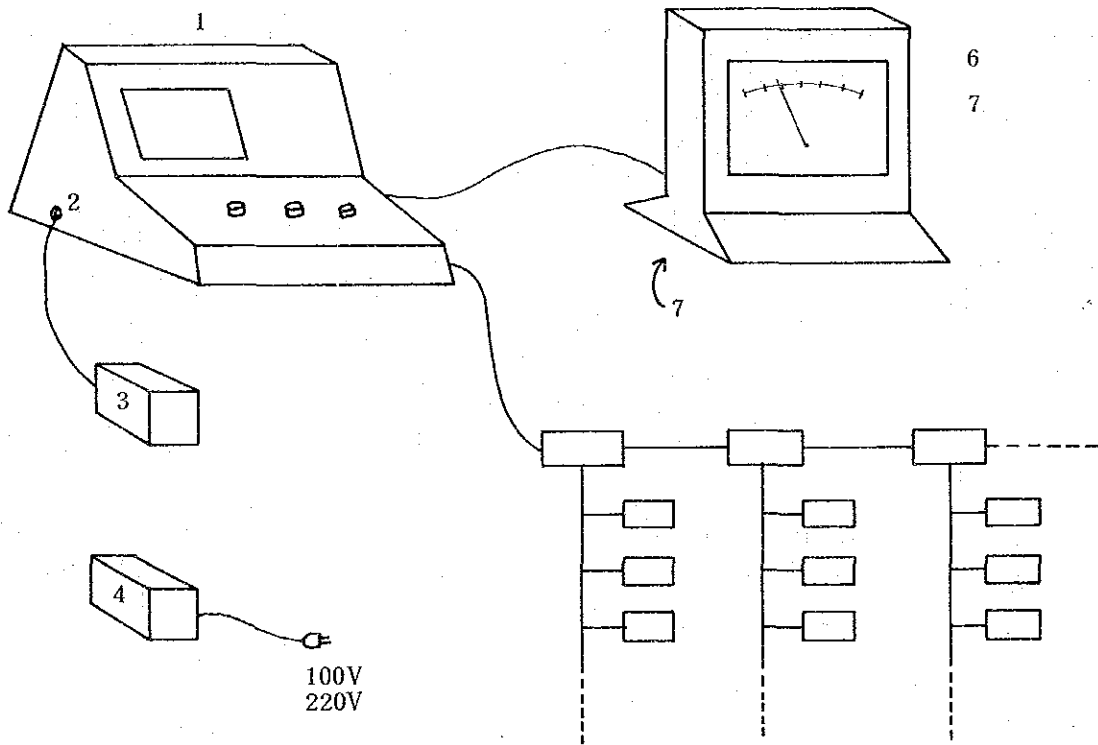
<u>Items</u>	<u>Purpose</u>
Dupro Printer L-330	Color Pamphlets
Duprofax F-820	Master Printer for Dupro
Expendables one set	
Simple Transparency Maker	Production of Simple Transparencies
Xenofax	Production of Transparencies
	Production of original plates for silk screens
	Orig nals for mineographing
Mineograph Machine	
OHP 3 units	
Portable Minilyzer system 3 sets	
Synchrofax	
Pattern set	
Magnetic sheet	
Micro teaching VTR set for micro teaching (black and white camera, VTR, Monitor, 2 microphones)	



Training room

Portable Minilyzer System

1. Main body
2. Connector
3. Charging type power battery
4. Charger
5. Scale drawn by heavy line
6. Large pointer
7. Large meter being suitable for 48 persons



PART III. Points to be Considered in Producing Visual and Audio Media for the Promotion of Family Planning in Indonesia

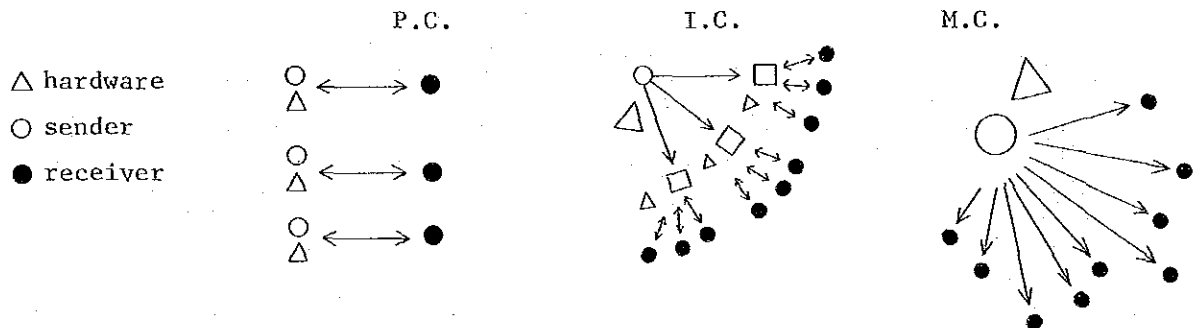
In Indonesia, each of western, central and eastern district has its own language, customs, manners and religion. Since family planning is a delicate matter, it is necessary to select the right type of media which suits to the district to persuade the prospective acceptors.

For instance, between Jakarta and Suravaya (especially in the countryside) there is a difference in dress, hairstyle, and language.

Consequently, except a mass communication medium such as television, there is a necessity to produce films, pamphlets and other printed materials so as to suit to the respective area.

Therefore, since labor costs are low, it is advisable to produce media in medium quantities rather than in large ones. That is, even if the original and the scenario are the same ones, illustrations and language of narrations should be modified according to the particular area.

In this sense it is most appropriate to adopt what might be called the method of intermediate communication (I.C.), which is inbetween personal (P.C.) and mass communication (M.C.).



- { P.C. Personal communication
- { I.C. Intermediate (or middle) communication
- { M.C. Mass communication

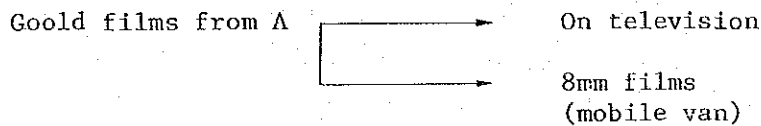
The hardware equipment for intermediate communication, it should not be too sophisticated and complicated, but be simple one which can be used anywhere in view of their dispersion.

1. Production of Video Tape Teaching Material

A simple but sophisticated method, using a VTR with an electronic editing mechanism by a small number of staff.

Examples of Production Program

- A. IEC To stimulate motivation and understanding of the masses toward family planning.
- B. Explanatory material for individual accepters.
- C. Training material for field workers.



* Some of the recent 8mm projectors have sufficient brightness to be used for public showings.
 (Needs further study)

2. Printed Material

A simpler method to be adopted from the view point of intermediate communication.

Printed number at one time

- A. Liquid printer 100 to 300 sheets color printing possible
- B. Mimeograph machine 1,000 to 2,000 sheets

(Offset printer seems to be too expensive.)

3. Posters, Flip Charts

Printing of silk screens. Xenofax (RISO-KAGAKU CO.) is usually used to produce simple original plates for silk screen.

4. Training of Field Workers

Purposes	Equipment to be used
a) For Lectures	
Textbooks	Printer (Dupro, Xenofax)
Printed material	Printing machines
OHP material	OHP, Transparency maker for OHP
Video material	VTR for reproduction only Monitor
Model material	Magnetic sheet
Feed-back	Minilizer
b) For Individual	
Video material	VTR reproduction and monitor
Sheet material	Synchrofax
Pattern material	Patterns
Slides	Slide viewer, tape recorder
Panels	Magnetic sheet, flannel board
Reference books	Printer
c) Production training of materials to be used by field workers	
Training to make Pamphlets	Printing machine
Flip charts	Equipment to produce silk screens
Slides	Slide copier
Instructional panels	OHP, slide viewer, BTR, patterns
To monitor training work minilizer	
d) Training of field workers in interviewing	
For commentary	OHP, VTR, monitor
Micro-teaching	Black and white camera, VTR, monitor,
Discussion	Minilizer

Audio-visual Equipment for Field Workers

1. Flip Charts for Explanation

- a) Contents similar to those of picture-story are shown to motivate the audience.
- b) To provide medical information

The information available at present is principally directed to teach medical students and is too technical. It should be altered in the following way:-

1. It should include as many sketches as possible.
2. It should be programed.

Now used



Modified to programs



2. Slide Films

- a) Slide viewer

This is ideal as it works on two 1.5V.

- b) Portable slide projector

The present one from Germany needs fifteen SUM-1 batteries which make the running costs are high. If this type is used, it might be better to use a charging battery, but its maintenance has to be studied.

- c) As a conclusion, slide viewer is most suitable.

3. Bicycles, Motorcycles

Bicycles are more suitable, but instruction booklets, repair kits, air pumps and oilers seem to be necessary. (Need to be studied further).

Equipment for the Mobile Van

The mobile van at Suravaya BKKDN Branch is a large vehicle. But a smaller one will perhaps be sufficient.

1. Medium-size sedan or a station wagon.
2. 8mm projector, not 16mm (see the appropriate section).
3. Assemble type screen (2m x 1m)
4. Small and assembly type flood light projector.
Alternatively a heal light can be mounted on the roof of the car which can simply be switched on and off.
5. Power can be taken from the car generator.
6. For the public address system, a cassette tape recorder and a microphone may be used. It can be a small transistor type.

Fig. B

1. Strategic and tactical planning
2. Media production
3. Training method
4. Policy makers
5. Mass communication
6. Instruction
7. Training
8. Policy makers
9. Policies
10. TV Radio
11. To: 8mm
12. Mobile van
13. Training of field workers
14. Persuasion
15. Masses

16. Explaining "How to" to motivated people
17. *In this project our cooperation is being considered in those areas in dotted line. From the viewpoint of educational technology it is necessary to try to maintain some organic association with the area outside the dotted areas.

Fig. C

1. Japan (JICA)
2. Indonesia (BKKBN)
3. 1st, 2nd Missions
4. 3rd Mission
5. Schedule for trainee recruitment
6. Qualifications for trainee candidates
7. Hardware and software items to be prepared for selection
8. Letters
9. Selection of trainee candidates
10. Card
11. Control
12. Training and assessment
13. Grading list drawn up
14. Inspection
15. Prospective candidates
16. Adjustment selection
17. Training carried out
18. Trainees
19. Local trainees
20. Guidance
21. Trainers
22. Production start

別添 3.

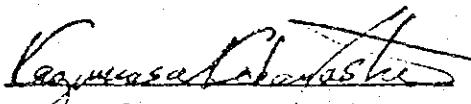
討議議事録

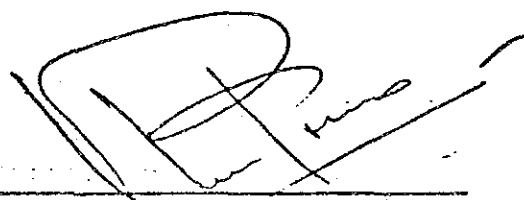
Record of Discussions between the Japanese
Implementation Survey Team and the Authorities
Concerned of the Government of the Republic
of Indonesia on the Technical Cooperation in
the Field of Family Planning

Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as JICA) dispatched the Implementation Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") which was headed by Prof. Kazumasa KOBAYASHI to the Republic of Indonesia from July 14th, 1977 to July 27th, 1977 for the purpose of working out the details of the technical cooperation project in the field of family planning (hereinafter referred to as "the Project").

The team exchanged views and had a series of discussions with the authorities concerned of the Government of the Republic of Indonesia concerning the desirable measures to be taken by both Governments to implement the aforementioned Project.

As a result of the survey and discussions, both parties agreed to recommend to their respective Governments to carry out the matters referred to in the attached document concerning the Project.


Prof. Kazumasa KOBAYASHI
Head of the Japanese
Implementation Survey Team


Dr. Suwardjono Surjaningrat
Chairman of the National Family Planning
Coordinating Board
(BKKBN-NFPCB)

ATTACHED DOCUMENT

1. BACKGROUND

Recognizing that the establishment of systematic family planning extension activities which are most suited to the actual life of Indonesian people is one of the most important tasks for the improvement of people's life, the Government of Japan and the Government of the Republic of Indonesia will jointly carry out a technical cooperation project in the field of information, education, and communication for family planning.

2. THE OUTLINE OF THE PROJECT

The Project intends to improve the audio-visual software materials for information, education and communication for family planning both in quality and quantity, and includes the following activities.

- (1) Training of Indonesian Staff in Japan
- (2) Improvement of facilities for software prototype production and training.
- (3) Services of Japanese Experts in Indonesia.

3. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN

- (1) In accordance with laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide, at its own expense, upon the request of the Government of the Republic of Indonesia through the normal procedure under the Colombo Plan Technical Co-operation Scheme, (Application Form A 1), the requisite services of Japanese experts including those for installation of equipment as listed in APPENDIX I.
- (2) In accordance with laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take the necessary measures through JICA to provide, at its own expense, upon the request of the Government of the Republic of Indonesia, through the normal procedure under the Colombo Plan Technical Co-operation Scheme, (Application Form A 4), such equipment and materials necessary for the implementation of the Project as listed in APPENDIX II.
 - a) The equipment and materials referred to above will become the property of the Government of Indonesia upon being delivered

c.i.f. at the port of disembarkation to the Indonesian authorities concerned.

b) The equipment and materials referred to above will be utilized exclusively for the implementation of the Project in close consultation with the Japanese experts.

(3) In accordance with laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to receive, at its own expense, upon the request of the Government of the Republic of Indonesia, through the normal procedure under the Colombo Plan Technical Co-operation Scheme, (Application Form A2, A3), Indonesian staff associated with the Project for such technical training in Japan as listed in APPENDIX III.

4. THE MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF INDONESIA

(1) In accordance with laws and regulations in force in Indonesia, the Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to ensure the provision and/or recruitment of Indonesian counterpart personnels as listed in APPENDIX IV and to provide, at its own expense, the services of such personnels.

(2) In accordance with laws and regulations in force in Indonesia, the Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to provide:

a) Space for software prototype development or space which is suitable to the purpose;

b) The supply or replacement of equipment and other materials for appropriate running of the Project, other than those provided by the Government of Japan under Paragraph 3. (2);

c) The expenses necessary for the domestic transportation of the goods referred to in Paragraph 3. (2), as well as for their installation, operation, maintenance and repair;

d) All running expenses necessary for the effective implementation of the Project.

(3) In accordance with laws and regulations in force in Indonesia, the Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to provide for the exemption of customs duties, internal taxes and

other similar charges, if any, imposed in Indonesia in respect to the goods referred to in Paragraph 3. (2).

- (4) The Indonesian authorities concerned will take the necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Indonesian staff through the technical training in Japan under paragraph 3.(3), will be utilized effectively for the implementation of the Project.

5. PRIVILEGES, EXEMPTIONS AND BENEFITS

- (1) The Japanese experts mentioned in Paragraph 3.(1) and their families will be granted privileges, exemptions and benefits in Indonesia, no less favourable than those granted to experts of any other countries working in Indonesia under the Technical Co-operation Scheme as well as those of the United Nations.
- (2) The Government of the Republic of Indonesia will exempt the Japanese experts under the terms of this Record of Discussions from all taxes and other similar charges in connection with all remunerations remitted to them by the Government of Japan or JICA.
- (3) In accordance with laws and regulations in force in Indonesia, the Government of the Republic of Indonesia will take necessary measures to meet:
 - a) The expenses for chauffeured vehicles for the Japanese experts during working hours;
 - b) The expenses for the internal travel in Indonesia of the Japanese experts on duty;
 - c) Free medical service and facilities for the Japanese experts and their families.
 - d) Expenses for fully furnished appropriate housing for the Japanese experts and their families.

6. CLAIMS AGAINST THE JAPANESE EXPERTS

In accordance with laws and regulations in force in Indonesia, the Government of the Republic of Indonesia undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in Indonesia, except for those claims arising from the wilful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

7. Japanese experts will primarily give technical guidance and advice to the Indonesian staff associated with the Project pertaining to its implementation and Indonesian authorities concerned will be responsible for the administrative and managerial matters pertaining to the Project.

It is advisable to establish a Joint Committee under the Chairmanship of the Chairman of National Family Planning Coordinating Board (BKKBN-NFPCB), which consists of the representatives of both Indonesian experts, and the Japanese resident experts for the successful and smooth implementation of the Project.

8. Both Governments will consult with each other when necessary in respect to any matter that may arise from or in connection with this Record of Discussions.
9. The duration of the Japanese cooperation for "the Project" will be commencing from July 21st, 1977 to March 31st, 1980.

APPENDIX I. Japanese Expert

1. Expert for long term
 - a) Expert in Audio-Visual Education
2. Expert for short term
 - a) Advisor
 - b) Expert in Hardware for Audio-Visual Education
 - c) Expert in Software for Audio-Visual Education
 - d) Expert in the way of use of equipment and materials for Audio-Visual Education
 - e) Expert in other related fields to be mutually agreed upon as necessary

APPENDIX II. Equipment and Materials

1. Equipment and Materials for audio-visual software prototype production.
2. Equipment and Materials for training field workers
3. Equipment and Materials for information and motivation activities
4. Equipment and Materials for other related fields to be mutually agreed upon as necessary.

APPENDIX III. Training in Japan

1. Personnel in Audio-Visual Hardware
2. Personnel in Audio-Visual Software Material Production
3. Personnel in other related fields to be mutually agreed upon as necessary

APPENDIX IV. Indonesian Counterpart Personnel

1. General Supervisor
2. Hardware Technician
3. Software Production Technician
4. Counterpart in other related fields to be mutually agreed upon as necessary

別添 4.

EXPLANATORY NOTES FOR THE TECHNICAL COOPERATION PROJECT
ON AUDIO-VISUAL SOFTWARE PROTOTYPE PRODUCTION FOR
FAMILY PLANNING

The plan for Technical Cooperation Project on Audio-Visual Software Prototype Production for Family Planning was realized under the Record of Discussions (the RD) mutually signed by the representatives of both parties;

The followings are detailed items discussed for effective implementation of the Project.

1. Actions to be taken by the Japanese party in the fiscal year 1977
(July 1977 - March 1978):

1.1 Japanese experts

- a) Two long term experts in audio-visual education may be dispatched and one of them will concurrently take a role of liaison work between JICA and Indonesian authorities concerned.
- b) Japanese experts will hire an assistant to work with them for the Project.
- c) One short term expert may be dispatched in or around October 1977 for training Indonesian production staff in Indonesia using a VTR system already supplied in 1976.

1.2 Training for Indonesian staff in Japan.

- a) Three production staff will be accepted for training in Japan but the selection of the trainees will be done in close consultation with the Japanese experts above-mentioned.

1.3 Equipment and materials to be supplied

- a) First phase of production equipment and materials will be supplied in or around December 1977.
- b) Second phase of equipment and materials supply will include some parts of radio broadcasting activities.

2. Actions to be taken by the Indonesian part:

2.1. Set up organization for the Project

- a) Organization chart will be prepared both internal and external and sent to Japan in or around September 1977.
- b) The internal organization chart above-mentioned will include the Indonesian personnel assigned and their job descriptions.
- c) The organization will be ultimately issued by a ministerial decree or other appropriate authority.

2.2 Plan of operation

- a) Plan of operation (scope of work) will be prepared based on the agreed plan and sent to Japan in or around September 1977.

2.3 Recruitment of Indonesian staff and their training

- a) At least ten full-time production staff will be appointed in time for the training in Indonesia by the Japanese short term expert.
- b) At least three kinds of scenarios for spot, comics and long story each will be prepared and sent to Japan before the end of September 1977, so that training materials could be prepared in Japan.
- c) One responsible person for the administration of the Project will be appointed in time for the arrival of the first Japanese expert in Indonesia.

2.4 Equipment and materials.

- a) Official request for the supply of equipment and materials (A4 for forms) for fiscal year 1977 will be sent through the Embassy of Japan within the first half of August 1977.

3. Responsibility of the supply of scenarios:

The responsibility of the supply of scenarios is primarily on the Indonesian part.

4. Range of activities of the Project:

- a) Production of software materials and their application in the field.

- b) Manpower training
- c) Research and development of I.E.C. methodology

5. Site of the Project

Three (3) rooms for Mini studio, Office and Storage will be available at the Training Center ("Pusat Bina Profesi) of the RRI at Jalan Radio Dalam, Kebayoran Baru, Jakarta.

26 July 1977.

別添 5.

5 2年度一般機材要請リスト

MINI STUDIO (SOUND)
(for the use of RRI)

1. Microphones, stands and cables :

Uni-directional mic. (as Sony ECM-23)	4 ea
Omni-directional mic. (as Sony ECM-170)	2 ea
Mike holder U 5/16" (as Sony SAD-27)	6 ea
Mike table stand U 5/16" (as Sony A-16)	6 ea
Micro. extension cord, 10 w/plug	4 ea
Micro. extension cord, 5 w/plug	2 ea
Desk mic. incl. mike holder and table stand (as Sony CB-36B)	2 sets
Boom stand (as Sony B-301)	3 sets
Micro.'s cradle suspension (as Sony CRS-33P)	1 ea

2. Tape recorders :

2.1. Open reel stereo tape deck, 10 1/2" reel capacity, direct drive system, ferrite head, peak program meter and servo controlled motor. Two tape speeds (38cm/s and 19cm/s) Standard unit as Sony TC 280-2	2 sets
2.2. Cassette stereo tape deck, ferrite dolby noise reduction and front loading system. AC variable voltage. Complete standard unit as Sony TC 209-SD	2 sets
2.3. Portable cassette tape recorder. AC (variable voltage) and DC (dry battery) powered. Built in amp. and speakers. Dual mic. system (built in electret condenser and external). Comes in complete standard unit including carrying case and strap holder, microphone	27 sets

3. Turn table, amplifier and microphone mixer :

3.1. Direct drive/servo controlled turn table, two speeds (45 rpm and 33 1/3 rpm). Complete standard unit, including compartment case as Sony PS-8750 Spare diamond stylus for above turn table	2 sets 6 ea
3.2. Pre/power amplifier with fully controlled program panel.	1 set
3.3. Microphone mixer, 8 channel mic/line input, and 4 channel output. Slide type volume control, input selector with attenuator. Complete standard unit as Sony MX-16.	1 set

4. Others :

- 4.1. Adjustable volume headphone, as Sony LR-7 2 sets
- 4.2. Speakers, 8 Ohm impedance, wall mounting model for mini studio
use and control room 2 sets
- External speakers cables 2 x 10m w/ plugs 2 sets
- 4.3. Additional microphones cable 50 ft, in roll 1 set.

5. Supplies and spares :

- 5.1. High density tape in roll, 1800 ft 52 rolls
- 5.2. Regular tape in roll, 1200 ft. 30 rolls
- 5.3. Tape in cassette, type 50 min. (C-60) 52 ea.
- Tape in cassette, type 90 min. (C-90) 30 ea.
- Tape in cassette, type 30 min. (C-30) 30 ea.
- 5.4. Magnetic eraser 1 set
- 5.5. Magnetizer (head demagnetizer). 1 set
- 5.6. Desk model photo-copy A4 size using regular paper, complete
unit including spares and dry carbon. 1 set

1. Stencil duplicator. Electrical power, 110/220V 50Hz, auto rubber blanked cleaning device. Centralized control. Printing capacity 65-100 copies per minute. Suitable for 40gr/cm² to 190gr/cm² paper weight. Complete standard unit and parts. 1 unit.
2. Electronic copying machine, A3 copying area. Copy objects letters, books and other three dimensional materials. Repeater print (continuous) centralized control. Auto paper feeding and warning limiter in sheet and roll. Iodine lamp 220V 50Hz power supply. 1:1 and 2:1 ratio copying scale 1 unit.
3. Electrical (electronic) type writer. Interchangeable type letter and assorted type face, 8 pt to 12 pt. in Roman - Italic and Condensed (bold), 220V 50Hz power supply. Long carriage 27" 1 unit.
4. Electric type writer, standard 27" pica type letter, suitable for stencil and correspondence. 220V 50Hz power supply. 1 unit.
5. Still photo camera, 35mm. TTL meter system, bayonet mount with auto matrix standard lens 50mm f 1.4. Completed with 28mm Wide angle lens, medium lens (105mm). Complete with carrying case 1 unit.
6. Portable electronic flash 1 pc.
7. Heavy duty electronic flash, separate power supply using wet accumulator Auto strobe system, complete unit including spare accumulator and rechargeable unit 1 pc.
8. Slide synchronization cassette-corder, with PA/Pause system, AC/DC power supply, auto shut-off, cue and review button (as Sony TC-182) . . . 1 unit.
9. Slide projector 35mm (2" x 2"), with standard zoom lens, AC on variable voltage, halogen lamp 150W/24V, blower cooled, remote control, carousel model. 1 unit
10. Film projector super 8 sound, with standard zoom lens, AC on variable voltage, halogen lamp source, fan cooled 1 unit.
11. Film camera 8mm, sound facilities, variable speeds. Zoom lens ratio 8:1. Comes in complete standard unit including carrying case, filters and external microphone 1 unit.
12. A-80 studer tape machines 1 unit.
13. Nagra tape recorder, neo pilot. 1 unit.
14. Microphone mixer, 4 channel in put (mic) and 2 channel output. AC/DC powered, sliding button control volume 1 unit.

- 15. Direct drive/servo controlled turn table, 2 speeds (45 rpm and 33 1/3 rpm) 1 unit.
- 16. Open reel deck recorder, stereophonic, 10 1/2" reel capacity, direct drive system, ferrite head and servo controlled motor 1 unit.
- 17. Cassette deck recorder, ferrite/dolby noise reduction and front loading model 1 unit.
- 18. Adjustable volume stereo headphone 1 unit.
- 19. Uni-directional microphones 4 ea.
(w/table stand and mike holder)
- 20. Omni-directional microphones (w/table stand and mike holder) 2 ea.
- 21. Parabolic reflector 1 ea.

Tn.Ds. 02031977.-

EQUIPMENT LIST

for the use in the BKKRM

1. Photographic's darkroom supplement :

- 1.1. Contact negative printer for 35 mm neg. film 1 ea.
Contact printer for 6x6 cm negative film 1 ea.
- 1.2. Print dryer, drum model, 220V 50 Hz 1 set
- 1.3. Copy stand, heavy duty (up to medium format camera weight),
including lamp holder (4 ea) attached to the copy stand 1 set
Day light lamps for above copy stand 16 ea.
- 1.4. Thermometer (for photographic use) 2 ea.
- 1.5. Enlarging meter (analyzer) and can use as timer 2 sets

2. 35 mm still-photo camera

Single-lens reflex camera, with automatic standard lens 50mm f 1.4
Interchangeable lens and focusing finder. Built in Light Emitting
Diodes exposure meter, self timer, ASA range 25-3200, speed 10 sec.
to 1/2000 sec. Comes in complete standard unit including soft
leather case and strap holder, IA filter (# 52 mm) and lens hood.
(as Nikon photonic F 2 SB) 3 sets

Special accessories for above camera :

- Wide angle lens, 35mm f 1.4 (w/case and hood) 2 ea.
- Perspective control lens, 35mm f 2.8 (w/case and hood) 1 ea.
- Micro lens, 35mm f 3.5 (w/case and hood) 1 ea.
- Medium lens, 105mm f 2.5 (w/case and hood) 1 ea.
- Zoom lens, 43-86mm f 2.8 (w/case and hood) 2 ea.
- Bellows lens 105mm f 4 1 ea.
- Filters for Wide Angle lens and 43-86mm zoom lens,
Y2, OR, Polarizing (PL), Ia, UV and ND2 1 set.
- Pistol grip with auxillary cables (cable release) 2 sets.
- Right angle finder for above camera 1 ea.
- Additional split focusing ground glass 1 ea.
- Bellows double rack w/ double cable release 1 set
- Slide copier for 2"x2" transparency 1 set
- Reverse ring 1 set
- Aluminum carrying case, accommodate 2 camera body, 2-3 lens and
other principal accessories 2 ea.
- Leather carrying case 1 ea.
- Portable electronic flash (auto strobe model) which designed
only for above camera (Nikon) 3 sets.

3. Medium format camera :

Single-lens reflex camera, with automatic 80mm f 1.9 lens, interchangeable lens and focusing finder, prism finder with Light Emitting Diodes exposure meter, 6cm x 4.5cm negative format using type 120 films. Speed 8 sec. to 1/1000 sec. Split finder focusing screen system. Comes in complete standard unit as Mamiya 645-1000 S with 80mm f 1.9 lens and lens hood 2 sets.

Above camera with prism exposure meter/finder (LED), without lens. 1 set.

Special accessories for above camera (nr. 3) :

Right angle finder 1 ea.

Revolving crank (folding model) 2 ea.

Extension tube nr. 1, 2 and 3 1 set

Close up lens +1 and +2 1 set

Strap holder (wide/short model) 3 ea.

45 degree finder glass 1 ea.

T model hand grip 1 ea.

L model hand grip 1 ea.

Hard leather case 1 ea.

Aluminium case, designed for above camera and spare lens 1 ea.

Auto strobe electronic flash, including battery and charger 1 set

Filters : # 58 (Y2, YG, O2, UV, PL, IA and ND) 1 set

 # 67 (Y2, YG, O2, UV, PL, IA and ND) 1 set

Lens Hood # 58, # 67 and # 80 3 ea

Wide angle lens, 55mm f2.8 (w/case and cap) 2 ea

Medium lens, 110mm f2.8 (w/case and cap) 1 ea

Medium lens, 210mm f 4 (w/case and cap) 2 ea

Tele lens, 300mm f 5.6 (w/case and cap) 1 ea

Slide mount, outer frame size 7x/cm, inner format size 56mm x 41.5mm. 30 boxes

Portable electronic flash (auto), universal shoe contact 2 ea

4. Slide synchronization cassette-corder, with PA/Pause system AC/DC, auto shut-off, cue and review buttons (as Sony TC-182) 17 sets

5. Film camera attachment-lens, for transferring 8mm film to video, w/28mm lens for Elmo film proyektor st-1200 D 1 set

5.1. 8mm super film camera, sound facilities, variable speeds. Zoom lens ratio 1 : 8 or 1 : 10. Comes in complete standard unit including carrying case, filters, external microphone, spare/additional NiCd battery with charger to 110-220V current... 2 sets

EQUIPMENT LIST - page 3

- 5.2. Editing equipment for super 8mm film viewing screen about 10 x 8cm up to 1,600 ft reel capacity, complete standard unit systems 1 unit
- 5.3. Movieola/editing machine for 16mm film with viewing screen, AC 220V/50 Hz, manual rotations, 1200 ft reel capacity equipped with cutter and splicer comes in complete unit 1 unit
- 5.4. Synchronizer 16mm + 35mm (combination), equipped 1 pair 1200 feet reel, 220V/50 Hz 1 unit
- 5.5. Wall mounting screen 300 x 240 cm (as Elmo SB-7) 2 ea.
- 5.6. Projectors stand, can be used as compartment with sliding table 700mm 2 ea.
- 5.7. Portable-use video system, CCIR standard, including camera, portable video tape recorder, TV receiver/monitor, NiCd battery, AG (200) adaptor RF unit and battery spares 1 unit
- 5.8. Electronic copying machine, desk. Repeater print (continuous) centralized control. Iodine Lamp 220V/50Hz. Complete unit and supply 1 unit
- 5.9. Selectronic type writer. Interchangeable type letter and assorted type face, Long carriage. 220V/50Hz. 1 unit
- 5.10 Electric type writer, standard, 220V/50Hz. pica type letter, suitable for stencil and correspondence. Complete unit 3 units

6. Public address system

- 6.1. For the use of indoor/outdoor meeting/gathering. AC/DC powered. Built in amplifier and speakers column, tripod mounted but can be dismantled in carrying case. Around 15 Watts out put power and has connection facilities for input/output, mic, rec. and line out to other run it. (as TOA MA-220). Comes in complete standard unit, including carrying case and tripod 3 units
- Optional accessories for above unit :
 - Dynamic microphone, dual impedance w/ on/off button, (50 K Ohm and 600 Ohm) 3 ea.
 - Auxiliary microphones cable with male/female jack, 20 m length 5 sets
 - Boom stand, adjustable height & direction (as Sony B-301). 3 sets
 - Jack to jack (male) cable for inter connection between those above unit, 10m length each 2 sets

- 6.2. Wireless amplifier with built in speakers column.
AC/DC powered. Tripod mounted and can be dismantled in carrying case. Around 15 Watts output power with connection facilities for auxiliary input, recording and/or direct microphones (as TQA MA-220W)
Comes in complete standard unit including tripod and case. . . . 2 units
- Optional accessories for above unit :
2 wireless microphones, battery powered as TQA WM 140 2 ea.

7. Sound analyzing system

- 7.1. Open reel stereo tape deck, 10 1/2" reel capacity, direct drive system, ferrite head, peak program meter and servo controlled motor. Two speeds (38cm/s and 19cm/s) as Sony TC 880-2
Complete standard unit 1 ea.
- 7.2. Cassette stereo tape deck, ferrite/dolby noise reduction. Front loading model, as Sony TC 209-SD 2 ea.
- 7.3. 8 channel mic/line, and 4 channel out puts microphone mixer. Slide type volume control, input selector with attenuator, as Sony MX-16 1 ea.
- 7.4. Headphone, adjustable volume, as Sony DR-7 2 ea.
- 7.5. Stereo tuner AM/FM with LED (Light Emitting Diodes) tuning system, as Sony ST-4950, comes in complete standard unit including FM antenna 1 ea.
- 7.6. Microphones :
Uni-directional microphones ECM-33P 8 ea.
Table stand and mike holder U 5/16" for above mic 8 sets
External mic. cables 10 m each 8 sets
Omni-directional mic. as Sony C-38 B 2 ea.
Table stand for above mic 2 ea.
External mic cables, 10m each 2 sets
Egom stand with cradle suspension 2 sets
- 7.7. Portable stereo tape recorder. Built in amplifier and speakers
Stereophonic open reel model up to 5" reel capacity. DC powered and AC (w/optional adaptor), two speeds (19cm/s and 9.5cm/s). DC servo controlled motor. Comes in standard unit as Sony TC 510-2
Total unit 1 unit

EQUIPMENT LIST - page 5

Optional accessories for above unit, are :

Carrying case (leather) as Sony IC-30	1 ea.
AC power adaptor as Sony AC-26	1 ea.
Rechargeable battery	2 ea.
Parabolic reflector including Microphone (as ECM-23)	1 set

7.8. Supplier and others :

Magnetic tape FeCr type, 3.600 ft	24 pcs.
Magnetic tape FeCr type, in 5" roll	24 pcs.
Cassette magnetic tape 30 min.	52 ea.
Cassette magnetic tape 60 min	52 ea.
Head demagnetizer (as Sony HE-2)	1 ea.
Magnetic eraser	1 ea.


8. Magnetic chalkboard 10' x 5' 1 ea.

9. Electronic scanner for transferring original teks/design into stencil sheet, AC powered 220V 50Hz. Auto exposures control/auto timer. Covering all reproducible subject and tone objects 1 unit

10. Optional accessories for medium format Bronica ED-FL camera

Film Back Magazine type E (120 film, 6x6cm)	2 ea.
Prism viewfinder Model G	1 ea.
Wide-angle lens, 50mm f 2.8 (w/case and cap)	1 ea.
Filter for above lens (IA, UV, Y2, O2, PL, and ND2) and hood	1 set
Medium lens, 200mm f 4 (w/ case and cap)	1 ea.
Filters for above lens (IA, UV, Y2, O2, PL and ND2) and hood	1 set
Hand grips model F with cable release	1 set
Extension tube set	1 set
Double rack bellows	1 set
Focusing screen type E	1 ea.
Carrying case (compartment case)	1 ea.
Polaroid film back	1 ea.

Biro Penerangan dan Motivasi
 BKKRN Pusat,
 Kepala,
 u.b.



Drs. Bambang S. Suryopranoto

Tu.Ds. 02081977.-

別添 6.

5 2 年度特別機材要請リスト

1. Copy film of "Among the Village People"
in Indonesian version 50 copies.
2. Portable Public Address system
AC/DC, complete with microphone and standard accessories . . . 50 sets.
3. Analyzer 21 sets.
4. Riso, transparency auto maker, complete with Riso film 10 sets.
5. Station wagon and or landrover/jeep 3 units.
6. OHP + screen 20 sets.
7. Mini cassette corder 50-100 sets.
8. 16mm (raw material) color/B&W
9. Video tape in roll (as Sony V-72)
10. Magnetic tape (sound magnetic tape) of 3600 ft length
11. Teaching kit
12. Riso film (for transparency)

0877.

別添 7

5 1年度繰越分一般機材要請リスト

Nos.	Description of Goods	Quantity
1.	Color Video Cassette Recorder VO-2850P	3 pcs.
2.	Remote Control unit RM-400CE	1 "
3.	Trinicon color Video Camera DXC-1200P	2 "
4.	Tripod with dolly SAM-TPD	2 "
5.	18" Color Video Monitor CVM-1810E	4 "
6.	13" Color Video Monitor CVM-1310E	2 "
7.	VTR RACK Model VTR75	5 "
8.	Lighting Kit KLM-3	2 "
9.	Cassette Tape Recorder CF-540	1 "
10.	Electret Condenser Microphone ECM-280	1 "
11.	Lavalier type Microphone ECM-150	2 "
12.	Boom Stand B-301	2 "
13.	Table Stand A-16	2 "
14.	Microphone Extension Cable MC-10M	2 "
15.	Color Back	1 "
16.	Color back hunger	1 "
17.	Video Cassette Player VP-1230	2 "
18.	Air Conditioning unit SPRG-7520B	1 "
19.	Moisture Controller ASA-W21-2	5 "
20.	Compositive Announce booth unit AB-1	1 "
21.	Parts tools for repair	2 sets
22.	Automatic Voltage regulator SA-2500	2 pcs.
23.	Videocassette tape 10min. KCA-10	36 "
24.	- do - 20min. KCA-20	36 "
25.	- do - 30min. KCA-30	36 "
26.	- do - 60min. KCA-60	24 "
27.	Audio Cassette tape 60min. C-60	24 "
28.	Mercury battery for microphone S-76	10 "
29.	Lamp for mini-light DVY	15 "
30.	Vinyl sheet (grey & blue) 3m x 60m	2 sets
31.	Curtain rail	2 "

Nos.	Description of Goods	Quantity
32.	Instructional tape 5 pcs.	1 set
33.	Steal board	2 pcs.
34.	Auto Transformer VR-1	2 "
35.	Video & Audio Cable	100 M.
36.	Hammer drill 8700B	1 pc.
37.	Electric drill 840	1 "
38.	Monkey wrench EM-375	1 "
39.	Tools for work CTL-3500	1 "
40.	Spanner 35M	1 "
41.	- do -30	1 "
42.	Pinch EC-150	1 "
43.	Hand Press AK-15	1 "
44.	Stationery Drawing Instruments White board delux	1 set

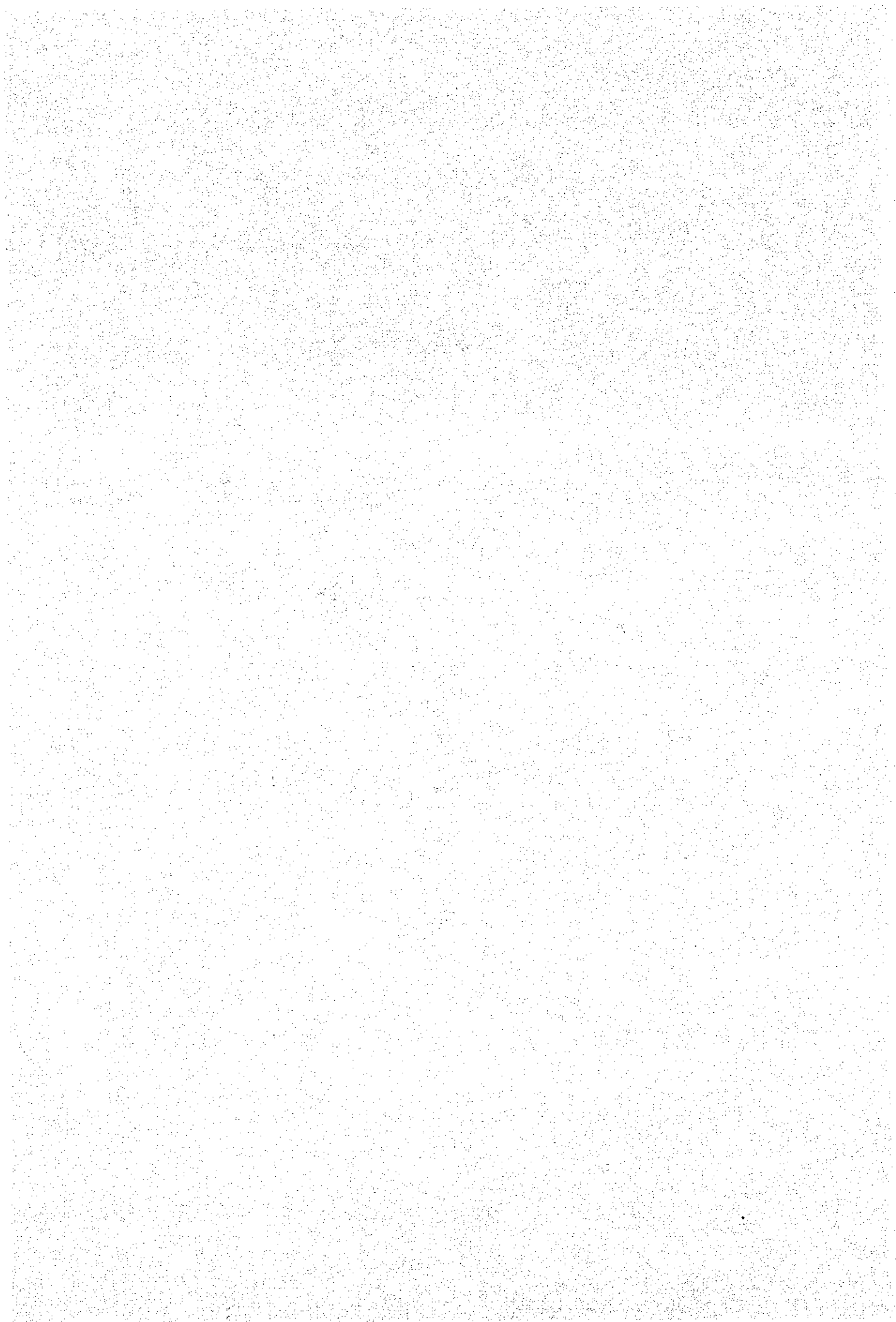
Ⅳ 添 付 資 料

教育工学による 「インドネシア国の家族計画推進プラン」 の出来るまで

末 武 国 弘

東 京 工 業 大 学

教育工学開発センター・センター長



1. ま え が き

昭和51年10月頃だったと思うが、当時厚生省の技官であられた池内先生が文部省で私の名を教えてもらったと、東工大へ訪ねてこられたのが今回のプロジェクトの発端となった。

厚生省がインドネシア国の家族計画推進の援助を JICA を通して行っているが、どうも効果が上らない。そこで視察団を派遣してみたところ、視聴覚教育技術の適用が良さそうに思えるので、その相談にあずかってもらいたいのご主旨であった。

ところが、「家族計画」イコール「産児制限」としか思っていなかった私には、お話をうかがってもピンとこない。大体、はずかしいことながらインドネシアという名前から、先ず頭に浮かんだのが、「赤い花なら 珠沙華……の歌の中のジャガタラお春」と、新しいところで、デビ夫人とスカルノ前大統領の恋物語である。池内先生がお帰りになってから地図を引きだして「ボルネオ」という島がこの国に属しているのを知って、南洋一郎という中学時代に愛読した冒険小説の作家のなつかしい名前を思い出したのだからたあいない。

実は、JICA が OTCA と言っていたころ、そこから派遣されて、バンコクにある AIT(アジア工科大学院)の視聴覚教育のコンサルタントとして、タイへ2度ほど訪問して以来、とかく欧米指向の我々としては東南アジアにもっと眼を向けなくてはと置いていたところであったが、テーマが教育でなくて「家族計画」とあっては歯が立たないので、せっかくのことであるがおことわり申し上げたのであった。

ところが池内先生は大変ご熱心で、電話やお手紙をたびたびよこされ、その後、JICA の橋本さんが池内先生の意向を伝えるようになって、遂に根負けしてしまった。

そのうちに家族計画国際協力財団の二見さんがおしかけて来られ、とうとう池内先生の熱情と橋本さんの根気の良さと、二見さんの笑顔に負けて、重い腰を上げることになったのである。

大体、「用具」として Condom しか知らなかった私は、二見さんからリングやスピラールを見せていただいて、眼をパチクリ。また「ビル」というのが例のピンクヘルメットの榎本さんがその解禁をと覚えておられ、「中ビ連」というのがピンクの「ビ」でなく「ビル」のビであったと知って大笑いしたこともあった。

2. 家族計画と教育工学

家族計画が実は「Small and Happy Family」を計画的に築くことであり、産児制限はその手段の一つであることを教えていただいて、やっと事の本質がわかってきた。余談になるが、昨年暮、ユネスコの「アジア教育革新プログラム」Asian Programme of Educational Innovation for Development (APEID) にもとづいて「身の回りの品を使って作る教材教具の開発と普及」のワークショップがマレーシアのクアラルンプールで開かれたとき、日本代表の一人として参加させていただいたが、その折、ある国の参加者が、インドネシアの人口増加のことにふれ、

“ It is terribly bad, They will eat us / ”

と呼んだことを思い出した。

いろいろな JICA や財団からいただいたパンフレットによって、一夜づけながら勉強させていただいたところでは、現在の同国の人口（1億4000人）は25年後の2000年には2倍に増すとのこと、おそるべき増加率である。世界銀行が開発費を出ししぶるのもむりはない。実際、昨年7月同国をおとずれて、街の路地裏に子供達が文字通りうようよ居るのを視察したとき、その顔が愛らしく、人なつっこいだけに、その将来を思っただけで慄然となったものであった。

しかし、この人口増加を抑えるのは単に産児制限の方法を適用するだけでもよいものであろうか？ やはり昨年3月視察してわかったことであるが、同国の田舎には「子は宝」の考えがありそれは50年前の北海道の田舎に育った当時の私の回りの環境と大変よく似ていたのである。

日本の人口増加率が減少して、家族計画がうまくいっているのは、決して日本の「家族計画」が良かったのではなく、「教育」が良かったからであり、衛生思想が普及した（これも教育の影響であるが）たまものであると考えられる。

ところで、家族計画は、その国の人々の自身の考え方が大切であって、けして外部から押しつけてもうまく行くものではない。学習者自身の学習意欲がなくては教育効果が上がらないのと同じことである。

どうやってインドネシアの家族計画をうまく推進させることができるか、「めくら蛇ににおじず」という諺があるが、私なりに一つの計画をたててみることにした。

さて、それでは、日本と同じ道をとるようにして、教育一本やりでこれを推進しようとするとならば50年はかかるであろう。最近のように情報伝達のいろいろなメディアが発達している今日では50年はかからないかも知れないが——それでもかなりの長年月を要するであろう。これは一つ、もっとシステムティックな方法をとる必要がありそうである。

これまでの日本の教育も、実はその運営は必ずしもシステムティックではなかった。従って、最近、台頭してきた教育工学的の手法がこれに適しているに違いない。それなら、私にも少しはお役に立ちそうである——そう考えると少々気が楽になり次のようなプランを立ててみたのである。

3. 教育工学の導入とストラテジ

学習のやり方には大まかに分けて3つの方法がある。

① 誘導学習法

これは、あまりよくない例であるが、「風が吹けば桶屋がもうかる式」に「こうだからこうだ、したがってこうなる」と順々に話を進めるやり方で、うまく行くと大それた短い時間に情報を相手に伝えることができるが、その効果には時にはあぶないものがある。

② 発見学習法

これは「鳴くならば、鳴くまでまとうほととぎす」と言う句が適確にこの方法を表現している。すなわち学習者の自意識が育つのを待つやり方で、うまく行くと本物になるが、時間がかかるのが玉に傷で、うまく行かぬとどうにもならない結果になってしまう恐れもある。

③ 誘導発見学習法

これは、上の①と②を混合した方法で、教師の方である程度までシステムティックにお膳立てをしておき、学習者は知らず知らずのうちにそのフローチャートにそって学習を進行するのであるが、自分ではいつも自発的に考えて学習をしているような気にさせる方法である。

ここではこの③の方法をとることにした。

(A) 為政者教育

まず、為政者の方々全員に「家族計画がインドネシアの緊要な国是である」ことをより一層認識していただく方策を考える。

これに関しては同僚の坂元教授から「ピグマリオン効果」(Pygmalion effect)という面白い話をうかがったことがある。簡単に言うと、ある学校の教師が、その大先生から、「君の受け持ちのクラスのA君とD君とE君は将来伸びることが推論できる」と言われ、半信半疑ながら大先生の言われることだからと一年間子供達を注意深く見守っていたところ、その大先生の言われる通りの結果になったという。驚いたその教師が大先生にその結果を報告すると、「本当に悪いことをした実はA・D・E君は乱数表で撰んだものだった」と言う語である。すなわち成績が伸びたのは、その教師がいつも注意してこれらの子供達を見守っていたからであるというわけである。

インドネシアの為政者の方々に「ピグマリオン効果」を発揮してもらうため、印刷物、ビデオなどあらゆる手段で、「家族計画はトップクラスの国是の一つ」であることを思いこんでいただくようとはまずもって大切なことであると考えたわけである。

(B) 国民教育

統制的でなく、それとはなしに(誘導発見学習的に) Small and Happy Family の考えをつちかかって行くPR作戦をあらゆる手段(印刷物、テレビ、映画)で推進する。

この場合、単に家族計画だけでなしに、「教育」と「衛生知識の普及」も同時に考えなくてはならないことはもちろんである。

筆者としては「教育一本」にしほりたいということであるが、爆発的な人口増加を目の前にして悠長なことは言っておられず、ここは目をつむって、「半強行手段」をとらざるを得ないであろう。

(C) Field Worker の訓練の強化

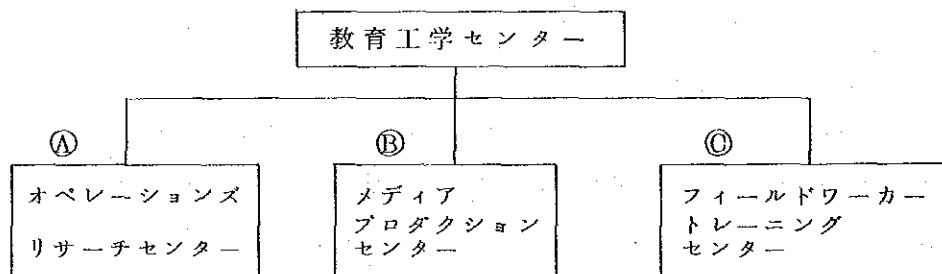
上記(B)によって少しでも家族計画に興味をもつ国民が出て来たとき、これを受け入れて、その相談にあずかり、上手にそれをリードして行く制度を作る必要がある。幸せな

ことにインドネシアにはフィールドワーカーの制度があり多数のワーカーが存在している。

このフィールドワーカーの「質と量」の急速な向上は、伝統的な方法では到底達成することはできず新しい教育工学的手法に依らなければならないことはもちろんである。

すなわち、教授方法に視聴覚的手法、訓練にはマイクロティーチングの手法〔ビデオ的自己対決 (Self Govfrontation) の手法〕をとり入れるなど、このフィールドワーカーの制度の革新をはかることが必要である。

以上、A・B・Cの3つの方策を強力に進めるために、次表のように教育工学センターの創設を提案することにした。



この素案をおそろおそろ JICA に提出したところ、当局から大変良いと言われて大いに喜んだものであった。

しかし、いくら良い案でも実践しなければ「絵に画いた餅」である。その実践者として誰かよい人がいないか……。

実に幸いなことに、それにふさわしい人が居られた。その人こそ日頃敬愛する半田雄三先生であった。

先生は日本の視聴覚教育の草分けであり、実は今から4年前、当のインドネシアに OTCA から派遣されて、同国の文部省で教員養成の仕事に当たられ、インドネシア語の部厚い「視聴覚教育」の本を出版しておられたのである。しかし、秋田市の小、中学校の校長先生を歴任されて、定年でご退官されておられるご老体（と申し上げると叱られるかも）である。恐る恐るご意向を伺ったところ、直ちに OK と快諾された。何と、ご長男がジャカルタの日本人学校の先生として計任されていたのである。言うことなし！

かくして、昨年3月、第2次派遣チームは、半田先生に加えて、医学の立場からこの方面に明るい石浜先生、教育工学関係者として上記の坂元教授、それに東工大の教育工学開発センターの清水助教授と私、更に財団から二見さんが加わって結成され訪伊することになったのである。

インドネシアは同じ言葉を重ねて使うことが多い。例えば、朝は Pagi だが、朝早くは Pagi Pagi. jalan は「通り」だが、散歩が Jalan Jalan これをそれぞれ、Pagi². Jalan² と書く。

毎日朝早くから夕方おそくまで、くたくたに疲れたということを(くた)²で視察してその結果、上記の案はまず妥当であることが確かめられた。

そして、これらを練りなおして、この報告書が出来上がったのである。

第3回は京都大学の小林先生を団長に、厚生省から高原さん、JICAから橋本さん、それに私。そして相手側のハルヨノさんと討議を重ね、BKKBN議長のスワルジョノ氏との間にR/Dが交されるに到った。

この間、現地の日本大使館の一等書記官市川さん、JICAの佐藤さんには親身に及ばないご厚情をいただいた。付け加えておきたいのは、小林先生をかつぎ出したのは実は市川さんと私との話し合いの結果である。私だと生来の気短かさでインドネシア側の悠長さに当面すると、(イラ)²で喧嘩になってしまうであろう。小林先生のおかげで、ハルヨノさんとは、時にどなり合い、時に、彼のヒゲ面と頬をすり合わせて、胸襟を開いて親密なディスカッションをすることができた。

むすび

プランはプランにすぎない、これに実行が伴わなければ絵に書いた餅になる。インドネシア風に言えば「ワックスドリアン」(蠟細工のドリアン)である。

幸いにして、半田先生というベテランを得て、昨年末、Media Production CenterがRRIの一郭に呱呱の声をあげた。これを生かすのも育てるのも実はインドネシアの当局の努力にあることは申すまでもない。このセンターが東京工大の教育工学開発センター(CRADLE)のゆりかごから一日も早く巣立つことを祈って筆をおく。

色々、お世話になったJICAの小野寺課長、橋本さん、野福さんにお礼申し上げる。

JICA